

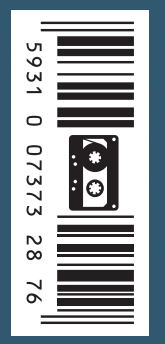
Guide To Premium Experience

TOUCH DRIVE

TOUCH DRIVE
New Stories Begin Here

New Stories Begin Here

新しいページの描き方





Brioni

TAILORING LEGENDS SINCE 1945

Crafted for Life's most beautiful moments.
Indoors and Outdoors.



Design: Norsmind

TAYA ROLF BENZ

FLAGSHIP SHOP

ロルフベッツ東京

東京都渋谷区神宮前 3-30-12 VORT 神宮前三丁目 1F
TEL (03) 5843-0900 OPEN 11:00 - 19:00 定休日:水曜日(祝日は除く)

SHOP IN SHOP

IDC OTSUKA

<input type="checkbox"/> Ariake (03) 5530-5555	<input type="checkbox"/> Shinjuku (03) 5379-4321	<input type="checkbox"/> Ikebukuro (03) 6915-2203
<input type="checkbox"/> Nagoya (052) 325-5997	<input type="checkbox"/> Osaka Nanko (06) 6612-4321	<input type="checkbox"/> Kobe (078) 360-4321
<input type="checkbox"/> Hiroshima (082) 270-1010	<input type="checkbox"/> Fukuoka (092) 281-4321	



OFFICIAL SITE

From Editor

Reborn、Restart、Renew、Revival、Rebirthなど、今号で掲げる「再生」というテーマの意味もつワードは実に多彩です。選択肢が多いからこそ、その言葉を使う背景には、とても前向きになれるユニークな物語が隠されていることもしばしば。アーカイブを模倣したり、クラシックを刷新したりするだけでなく、原点に立ち返るための「Re」があるからこそ、こうしたワードにはレガシーに自らの魂を込めて、力強く前進をしていくようなイメージをもつことができるのかもしれない。

今号の特集では「新しいページの描き方」と題して、受け継がれる自動車のエンジニアリング、忘れられない名店の味、カーステレオの思い出にフィーチャー。旅は過去の淡い記憶を再生しながら、新たな価値観にも出会うことができる場所、葉山へ。そして再生を果たした登録有形文化財「葉山加地邸」を舞台に撮影をしたファッションストーリーもお見逃しなく。



COVER

CREATIVE
Takuya Tawara

ILLUSTRATION
Sakutarō Nakatsuji

本書編集ページに掲載されている商品などの価格は、原則として消費税等を加えた総額表示であり、2026年4月現在のもの(消費税10%)です。本体価格や店舗情報などは諸事情により変更されることがあります。



読者イベント情報など、TOUCH DRIVEからのお知らせをお届けします。



Follow us!

読者限定スペシャルイベント

今号もエクスクルーシブなイベントをご用意。詳細とお申し込みはこちらからご確認ください。



CONTENTS

FEATURE

新しいページの描き方

08 NEW STORIES
BEGIN HERE

10 RESTYLE | CAR

14 REBORN | FOOD

20 REVIVAL | MEMORIES

24 再会をはじめりしらかわホール再始動

34 ROAD TRIP 海で再生する記憶の旅
REBIRTHED BY THE SEA

36 BIRD HOTEL

39 御成桑拿

40 葉山 ホテル 音羽ノ森

FASHION 時代に呼応する冒険スタイル
48 THE STYLE OF ADVENTURE

BEAUTY 夏への曲がり角 理想の肌の整え方
68 TURN THE CORNER

WATCH
76 再生を経て輝く本格時計の魅力

COLUMN | INTERVIEW&NEWS

28 AT A PARKING LOT | GADGET

30 AT A PARKING LOT | HOTEL

33 旅の逸品

66 TOUCH The TECH

81 TOUCH DRIVE NEWS

EXPERIENCE

44 TOUCHの森
- 走った分だけ森になる -

今号で特集した旅で巡ったスポットへドライブしていただくことで、美しい日本の森と里山の再生を目的に植樹するプロジェクト。



ACQUA DI PARMA

110 ANNIVERSARIO

Dal 1916



acquadiparma.jp 0120-000-599

THE ART OF LIVING ITALIAN





New Stories Begin Here

 RESTYLE
CAR

 REBORN
FOOD

 REVIVAL
MEMORIES

新しい ページの 描き方

“Spring has come” 毎年どこかでこの言葉を聞くと、目の前の景色が昨日までと違うような、苦手だったことがちゃんとできていく自分に生まれ変わったような不思議な充足感を得られるのはなぜだろう。あるいはわずか一年間だけれど、笑いあり涙あり、乗り越えてきた旅路を終えて、わが家に「ただいま」と無事に帰ってきた安堵感にも近いのかもしれない。

そして春は「再始動」の季節。ここからまた様々な物語が始まる。ほっとする気持ちに滲む柔らかな色合いに、再び少しずつ期待と希望の色を載せて未来を描き始める。きつと真新しく描ける未来など存在しない。誰かに愛された時間を積み重ねてきたキャンパスにだけ描けるのだと思う。リスタイル、リボン、リバイバル―誰かが再び動き出すとき、そこには人の数だけ心揺さぶる物語へと続く、新しいページの描き方がある。

巨大な自動車メーカーにも、小さな町の洋食店にも、そして私たちの淡い青春の記憶の中にも、生きるとは自分なりの魂を込めて、愛情を受け継いでいくことだと教えらるる物語が。



F1

◀ McLaren F1

F1で圧倒的な強さを誇ったマクラーレンのテクノロジーを結集したロードゴーイングモデル。最高出力627psの6.0V型12気筒エンジンを搭載。レース仕様も活躍した。



RESTYLE
CAR

917

Porsche 917 ▶

悲願のル・マン24時間レース制覇を目標に、フェルディナント・ピエヒの指揮で1968年に開発開始。1970年、71年に同レースを連覇した後、米国Can-Amも席巻した。

受け継がれるスタイル

多くの自動車メーカーには、マイルストーンとなるモデルが存在する。各メーカーが創業以来大切にしているピュアな想いは、魂となって様々なスタイルで受け継がれている。ここでは、そうした4つの神話的な物語を紹介する。

WORDS Takeshi Sato



「+1」の魂

「最新のポルシェが最良のポルシェ」といわれるように、このメーカーは常に革新を続けてきたからこそ現在の地位を得た。なかでもこの2台は、時代をブレイクスルーした存在だ。



918

Porsche 918 Spyder ▶

ポルシェ959やカレラGTと同様に、性能や量産よりも技術的なチャレンジを目的に開発されたモデル。モデル名にちなみ、生産台数は世界限定918台に定められた。



ル・マン24時間レース用に開発されたRSスパイダーのエンジンがベースとなる4.6L V型8気筒エンジンとモーターの組み合わせでシステム全体の最高出力は887ps。独ニュルブルクリンクサーキットで6分58秒という圧倒的なタイムを叩き出すいっぽうで、燃費は驚愕の3ℓ/100km(約33km/ℓ)。

ポルシェはこの次世代スーパースポーツに、「917」に「+1」の918というネーミングを与え、デザインでもオマージュを表現。両者に共通しているのは、成功に甘んずることなく、ひとつ上の領域へ挑んだ点だ。917から918への「+1」は、新しい時代に向けた大いなる第一歩なのだ。

1950年代以降、ポルシェは356や911といったコンパクトなスポーツカーで評価された。挑むべき次のステージは、ル・マン24時間レースをはじめとするモータースポーツの頂点。そのために開発されたのが、V型12気筒エンジンを積むポルシェ917だった。この917で、ポルシェは1970年のル・マンで初優勝を遂げる。現在、ポルシェはル・マン24時間レースの最多勝利を誇るが、917によって偉大なる第一歩を踏み出したのだ。

同じように、新しい時代の扉を開いたモデルがある。それが2010年に登場したポルシェ918スパイダーで、高性能と環境性能の両立に挑んだ。具体的にはV8エンジンとプラグインハイブリッドシステムを組み合わせたパワートレイン、そしてCFRP(カーボンファイバー強化プラスチック)製の強靱で軽いボディによって、コンパクトカーを凌ぐ燃費性能と0-100km/h加速が2.6秒という俊足を兼備した。

永遠の「1」

1963年に創設されたマクラーレンは、半世紀以上にわたって常にモータースポーツ界の最先端を走ってきた。同時に、極限のバトルで得た技術と経験は市販スポーツカーの開発にも活かされている。



P1

McLaren P1

マクラーレン設立50周年を迎える2013年にデリバリーを開始した、同社のアニバーサリーモデル。デザインの細部に、マクラーレンF1や2008年のF1を制したMP4-23へのオマージュを表現した。生産台数は世界限定で375台、発表時には日本での販売価格が9661万5000円と公表された。



マクラーレンF1(左)からマクラーレンP1(右)へと紡がれた物語は、写真中央のマクラーレンW1へと継承された。発表は2024年10月6日、50年前にマクラーレンが初めてF1世界王者に輝いた記念日だった。

ゴードン・マレーは、F1史上最高のデザイナーのひとりだ。彼が手がけたマクラーレンMP4/4は1988年のF1で全16戦中15勝を挙げ、ここから3年連続でコンストラクターズタイトルを獲得した。

マレーが掲げた次なるプロジェクトが、世界最速のスポーツカー。マレーによれば、公道を走る市販モデルはF1マシンよりはるかに難易度が高かったという。はたして1992年にマクラーレンF1が完成する。後にあのモデルがスーパースポーツの動力性能の基準を引き上げたと言われた、エポックメイキングな存在だった。

20年の時を経て、当時と同程度か、さらなる衝撃を与えたモデルが登場する。それがマクラーレンP1で、なぜ衝撃的だったかといえば、F1レースで使われる「KERS」に近いハイブリッドシステムや、やはりF1由来のカーボンモノコック構造で、スーパースポーツの新基準を示したからだ。

V型8気筒エンジンとモーターの組み合わせは916psというシステム最高出力を発生するだけでなく鋭いレスポンスを發揮、カーボン製シャシーが1395kgという超軽量ボディを実現した。モデル名の「P1」はポールポジションの意。ナンバリーでありオリオンP1であるという、マクラーレンF1からの「1」の物語は続く。



挑戦の印

どちらかといえば上品で静穏な印象があったレクサスのラインナップで、美爆音をアイデンティティに登場したのが初代LFAだった。あれから16年、今度は電動スポーツカーの未来にチャレンジする。

Beyond Legend



Lexus LFA Concept

2025年12月にワールドプレミアでアンベールされたBEVのスーパースポーツ。「低重心」「オールアルミの軽量高剛性骨格」「空力性能の追求」がキーワードだとされた。

◀ Lexus LFA

2005年にコンセプトカーとして発表された和製スーパースポーツが09年の東京モーターショーでお披露目。世界限定500台、日本での価格は3700万円だった。



国や文化、時代といった境界を超える普遍的な魅力を備えたスポーツカーの理想形——。それがレクサスLFAコンセプトが目指したデザイン。インテリアは、最適化されたドライビングポジションを軸に、クルマとの一体感を高めながらドライビングに没入できるコクピットに仕立てられている。湾曲したパタフライ型の美しいディスプレイに、直感的に操作できる物理ボタンを備える。電動化の時代のスポーツカーに期待は高まる。



RESTYLE | CAR |

2009年に初代レクサスLFAが発売された時、開発陣の言葉に耳を疑った。「スポーツカーで最も大事な官能的な音にこだわった」と述べたからだ。チーフエンジニアは「スベックやコストではなく、音を第一に考えてエンジンはV型10気筒を選びました」と続けた。この発言は衝撃的だった。実際には軽く強いボディにするために自社工場内にカーボンを焼く釜を新設するなど、高性能も追求していたが、それでも一番大切な官能性なのだ。

あれから16年の時を経て発表されたのが、レクサスLFAコンセプトというBEVのスポーツカーだ。伸びやかで重心の低いスタイリングは、心が震えるような美しさがある。運転に没入できると謳うコクピットにも期待が高まる。ただし、レクサスLFAコンセプトには、「天使の咆哮」と称えられたV10サウンドは存在しない。豊田章男会長はBEVスポーツの音を再定義すると語るが、一体、どのような手法で乗り手の五感を魅了するのだろうか。レクサスは「式年遷宮」という言葉でLFAを表現している。これは一定の年数で神社の社殿を建て替える儀式で、結果として宮大工の技術を継承することにつながっている。LFAコンセプトが初代の何を受け継ぎ、何を未来に託そうとしているのか、その全貌を期待したい。

Land Rover Defender ▶

第二次世界大戦で活躍した米国ウィリス・ジープに着想を得て開発された、民生用としては初となる4輪駆動車。戦後の鉄資源の不足からボディはアルミニウム製となった。2019年に新型へ移行した後も初代ディフェンダー人気は衰えず、ランドローバーのクラシック部門はレストモッド(レスレーション&モディファイ)仕様を送り出している。



アイコンの復活

ディフェンダーは元祖SUVであるのと同じく、大英帝国復興の功労者でもある。偉大なる功績が尊敬を集めていることは、クラシック部門がレストアしたモデルが人気を博していることからわかる。

Live Twice



クラシック・ディフェンダーのラインナップは、90/110ボディのステーションワゴンと、90ボディのソフトトップ。最新モデルのディフェンダーOCTA専用のカラーを選ぶことも可能で、色合わせから仕上げまで、約300時間をかけて塗装は完了する。上質なセミアニリンレザーやレカロ製シートなどインテリアは好みでオーダー可。405psを発生する5.0V型8気筒エンジンと8段ATを組み合わせて、4輪を駆動する。



イギリスを象徴するクルマの一台がディフェンダーだ。1948年に登場した無骨な4輪駆動車は、戦勝国でありながら第二次世界大戦で疲弊した大英帝国の復興に尽力する万能車だった。工事現場や農場で力仕事を担当する働くクルマで、救急車や消防車として使われるケースもあった。1953年のエリザベス女王とエディンバラ公の初の英連邦ツアーのパレードに使われたのもこのクルマで、エリザベス女王は王室の領地では自らディフェンダーのハンドルを握ったという。デビューから2016年まで、ほとんど形を変えずに生産されたディフェンダーは、イギリスを象徴する存在なのだ。大英帝国のアイコンに乗り続けたいという希望に応えるために、ランドローバーのクラシック部門は初代ディフェンダーのレストアとビスボークのサービスを提供している。まず、2012年から16年までに生産された車両のうち、コンディションのよいものを厳選。一度分解して細部まで再構築したうえで、カラーリングから内装の素材に至るまで、顧客の好みに合わせてビスボークする。2025年にはソフトトップ仕様も加わり、選択の幅が広がった。スクラップ&ビルドではなく、いいものを長く愛用するあたりが、いかにもイギリスらしいと思える。

下北沢「マック」の味が経堂で復活

経堂 | 洋食バル ウルトラ

飲食店がひしめく経堂で、絶えず行列が途切れない「洋食バル ウルトラ」。下北沢で30年以上愛された「洋食屋マック」の味を継ぎ、2012年、亡き店主・石田重孝さんの誕生日にオープンしたのは、次男の幸路さんだ。20代は海外のレストランで働き、帰国後は青山のピストロなどで腕を磨いた。「マック」閉店までの4年間、父のもとで学んだハンバーグは、日々状態が異なる合挽肉の柔らかさや脂の出かたなどを、練り具合やパン粉の量、焼き加減で調整し、仕上がりを一定に整えていく。「当時のお客様が食べて『マックの味じゃないですか?』と気づいてくれたり、『この味が食べ

たかった』と喜んでくれる方も。洋食というジャンルは美味しいのはもちろん、その人の思い出やストーリーが重なっていく料理だと思うんです。「マック」の定番メニューは継ぎつつ、女性同士やカップルも楽しめるような“洋食バル”を目指したという。ポルト酒とシェリー酒、赤ワインを使った「鶏レバームース」、デミグラスとグリエールチーズのソースを合わせた「豚ロースカツレツ」など、メニューもジャンルレスに広げた幸路さん。「当時学生だった方が社会人になって来られたり、結婚してお子さんと来てくださったりと、またウルトラから新たなストーリーが生まれてくれたら嬉しいですね」



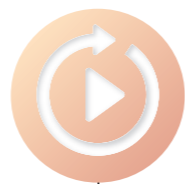
Reborn

ハンバーグステーキと豚ロース生姜焼きのMIX

甘くクリアな肉汁が溢れ出る「ハンバーグステーキ」ランチ(ライス・味噌汁付)¥1,200に、「豚ロース生姜焼き」をミックス(+¥700)。マック直伝の太く柔らかなパスタを添えて。

1.農大通り商店街から一本入った、経堂を代表する洋食店。2.オーナーシェフ石田幸路さん。3.2008年に閉店した「洋食マック」。4.ランチメニューは「マック」の定番メニューだった4種。人気No.1のハンバーグステーキをはじめ、豚ロース生姜焼き、白身魚のフライ、エビフライ。夜も単品価格あり。5.店内はカウンターとテーブルを合わせて22席。

📍 東京都世田谷区経堂1-19-2 松菱ビル1F
☎ 03-6413-9326
🕒 11:30~14:30(L.O.14:00)、
18:00~22:00(L.O.21:30)日曜定休
📍 近隣にコインパーキングあり 📷 ultra.bal



REBORN

FOOD

惜しまれつつ閉店したあの店のDNAを受け継ぐ

復活した名店の味

かつて、あなたも訪れたことがあるかもしれない。多くの常連客に愛され、惜しまれつつ閉店した伝説の店。あの味を守るため、父の背中に学び、師匠のレシピを継承し自分なりのエッセンスもくわえて、時代に合わせて進化を遂げた。再始動した店の、その先へ――。

PHOTOGRAPHY Tsutomu Hara (P14, 16下, 18), Taisuke Suzuki (P15, 16上, 17, 19)

EDIT & WORDS Aki Fujii



10年越しの「しいたけソバ」

代官山 | 有昌Astage

Reborn

しいたけソバ

クリアであっさりとした上湯スープは、食べ進めるごとにしいたけの甘い煮汁や八角の風味が溶けだし、コクと旨みをしっかり凝縮。最後の一滴まで味の変化を楽しめる。¥1,100

「必ず『中華 有昌』を再開することをここに約束します」。2013年、渋谷・並木橋の旧店舗を閉める際、二代目・橋本和雄さんがお客様に配ったカードの一文である。それから10年――。和雄さんは約束通り、パートナーの敦子さんとともに、代官山で「有昌 Astage」をオープンした。店先の赤い看板は、旧店舗から大切に保管してきたものだ。1970年に父・英雄さんが神宮前で創業した店は「道産子ラーメン」としてスタートし、その後「中華 有昌」に改名。和雄さんが幼い頃、並木橋へ移転したが、「物心ついた頃に、しいたけソバはあった」という。18歳から店を手伝っていた和雄さんは、「当時からレシピはなく、『見て覚えろ』の時代だった」と振り返る。「営業中、親父の鍋が下がってきたら、洗う前に残ったスープを小皿によけて、後で舐めて味を覚えめました」。上湯スープは鶏ガラと野菜から丁寧にとり、そのスープをチャーシューの煮汁に使用し、さらにこの煮汁でしいたけを甘く煮込む。こうして多くの人に愛され続けてきた名品「しいたけソバ」は、今も忠実に再現されている。くわえて「有昌」独自の“優しい味わい”を生み出すのが、「オイスターソースを使わない」という父譲りのこだわり。味の似通いがちな町中華と一線を画し、名店と称される所以である。

1.昔はしいたけを丸ごと盛り付けていたが、旧店舗のお客様の「スライスして」という一言から、今のスタイルに。2.カウンター7席のほか、夜のみテーブル4席(3名以上で予約可能)。3.橋本和雄さん。4.ナスと豚ひき肉の炒め レタス包み¥1,650。もともと常連客のテーブル席でのみ供されていた人気メニューが、今春から定番メニューに。別途、白米をオーダーし、レタスと一緒に包んでいただきたい。レタスのみずみずしさが口をさっぱりと一巡し、予想外のマリナーージュ。5.並木橋にあった旧店舗の写真。

📍 東京都渋谷区代官山町7-5 ル・キューブ2F
☎ 03-6687-5225 🕒 11:30~L.O.14:00、
17:30~22:00(L.O.21:30)日・月曜定休
📍 近隣にコインパーキングあり 📷 chukayusho





Reborn

釜焼き肉5種類 盛り合わせ

「楽記」時代からファンの多い釜焼き肉の盛り合わせ。(手前右から反時計回りに)内臓や背脂を重ねて焼く金銭鶏、皮付き焼豚、蜜汁焼豚、焼き鴨、焼き腸詰。2人前(写真)¥4,600~

1

中華×自然派ワインの、その先へ

四谷三丁目

新楽記



2



3

本場香港の“焼味”と自然派ワインの組み合わせで、日本の中華料理に革新をもたらした、外苑前「楽記」と錦糸町「サウストラボ南方」。連日予約で埋まる人気のなか惜しまれつつ閉店した両店を、企画から担ったプロデューサー菊地和男さんが2025年、新たに立ち上げたのが「新楽記」だ。菊地さんの盟友であり、昨今の自然派ワインブームを牽引した「祥瑞」のオーナー故・勝山晋作氏と始めた伝説の店「楽記」の再興に、歓喜したファンは多いにちがいない。その志を継ぎ、「新楽記」でも香港製の明炉(中国のオープン)で豚や鶏、鴨などを香ばしくジュースに焼き上げる“焼味”と、約

150種の自然派ワインが看板を張る。また、20代から世界中の食をフィールドワークし続ける菊地さんが手がけるだけあり、こちらでは広東料理から派生した潮州料理にも注目。海沿いの潮汕地方発祥で、旬の鮮魚を塩水に漬けるだけ、煮込むだけなどシンプルゆえに素材本来の旨みを存分に引き出したメニューが中心となる。「都内で本格的な潮州料理を出す店はこれまでなかったけれど、鮮魚のあっさりとした味わいは自然派ワインに合い、日本人の舌にも馴染みがよいはず」と菊地さん。「新楽記」で味わうは、中華×自然派ワインの歴史と、その先の未来である。

1.焼味の種類は予約時に相談。2.香港を象徴する赤いネオンサインが照らす。33席。3.楽記の定番だった豪快な蒸し魚。この日はハタ1kg¥4,000~(時価)。4.香港通の写真家としても有名な菊地さん。5.軸の両側の写真は菊地さんが撮った90年代の香港。6.鮮魚の塩水茹で「潮式魚飯」は普寧豆醬で。赤カマス、レンコ鯛など各¥2,000。

◎ 東京都新宿区若葉2-7-1 ビデオフォーカスビル1F
☎ 03-6380-0423
🕒 18:00~22:00L.O.
月6日不定休
P 近隣にコインパーキングあり
@ shin_rakuki



4



5



6

memo 菊地さんも大のワイン好き。「楽記」のオーナーだった故・勝山氏とは、フランスのワイナリー巡りで1ヶ月滞在したことも。



Reborn

加賀蓮根とマルゲリータの ハーフ&ハーフ

生き続ける、エンボカの野菜ピザ

「エンボカ」ファンも思わず胸が熱くなる「加賀蓮根」のピザを、定番人気の「マルゲリータ」と味比べ。敷き詰めた蓮根の下に、バジルソースと松の実を忍ばせて。¥2,900

壁一面のガラス越しに新宿御苑の緑を臨む「GRIN」。2022年に惜しまれつつ幕を閉じた「エンボカ」のレシピを受け継ぐピザが味わえると、評判を呼んでいる。自然栽培を中心に季節ごとの“野菜のピザ”で新たな潮流を築いた「エンボカ」の創業者・今井正氏から直接、生地を伝授されたのは、佐々木幸治シェフ。「生地の伸ばし方一つで食感が大きく変わる。食感が異なれば、粉の香りの感じ方まで違ってきます」と、真摯に再現する。生地を中心に山型に高く保ち、外へと軽く伸ばすことで、できるだけ空気を含ませるのがエンボカ流。高温の窯で一気に焼き上げ、内側の水分を閉じ込めるため、野菜の水分を吸ってもベタつかず、軽やかな食感だ。主役の野菜は、長崎「かたつむり農園」や千葉「のらファーム」などから直送される無農薬野菜が中心。季節ごとの野菜を丸ごと窯焼きする盛り合わせも必食である。

1.マルゲリータは「鹿児島コトブキチーズ」のモッツアレラチーズを使用。2.佐々木さんがセレクトするナチュラルワインのほか、ノンアルコールドリンクも充実。3.「季節の窯焼き野菜盛り合わせ」¥3,000。4.御苑に面したテラス席。

◎ 東京都新宿区新宿1-6-3 新宿御苑フロント1F
☎ 050-1807-1260 🕒 17:00~22:00(L.O.21:30)、
土のみ11:30~15:00(L.O.14:30)、
17:00~22:00(L.O.21:30)水曜定休
P 近隣にコインパーキングあり @ grin_shinjukugyoen



2



3



4

新宿御苑前 GRIN

memo 佐々木さんの愛称は“チャッキー”さん。料理歴20年以上のベテランながら、「エンボカ」での研修に臨むにあたり、薪火調理の店でも経験を積んだそう。



人や歴史と共に継いだ、辛来飯

Reborn

辛来飯

豚骨スープをベースに15種のスパイスと10種の国産野菜を煮込み、一日寝かせたカレー。ひと口めに甘み、後からじんわりと辛さが来る飯”=「辛来飯」と名付けられた。

銀座一丁目 ニューキャッスル

1946年創業のコーヒーと辛来飯(カラライライス)の専門店。終戦後、初代オーナー陣がGHQから入手したコーヒー豆を元手に喫茶店からスタートし、「コーヒーに合うご飯」として辛来飯が考案された。有楽町寄りにあった店は二代目オーナーが70歳を機に一度畳むが、その歴史を途絶えさせまいと復活させたのは、かつての常連客、飯塚健一さんだった。「再開までの半年間、譲り受けたレシピ通りに何十回も作りましたが、同じ味にはならなかった。そこで先代と一緒に作ってもらおうと、小麦粉をラードで炒める火加減など工程のわずかな違いで味が大きく変わること気づきました」。2013年、銀座の地で再開。先代夫婦は当初の3年間、店に立ち続けてくれたという。飯塚さんは「カレーに合うコーヒーを」と、豆の仕入れをこだわりのスペシャルティコーヒーに変更。初代の店から通う常連客も多く、その味に妥協は許されない。

1.普通サイズ「つんのめった蒲田(240g)」¥1,300。2.先代のオーナー夫妻と。3.カレーの味は1種。サイズは京浜東北線の駅名にかけた「大井」、「大森」など6種。4.飯塚さんの代で、大盛り「川崎(320g)」が加わった。

◎ 東京都中央区銀座2-11-1 B1F
☎ 03-6264-0885
🕒 11:30~15:00(L.O.14:30)
月・祝・第2第4日曜定休
P 近隣にコインパーキングあり
@ newcastle_ginza



2

3

4

memo 歌舞伎座も近く、店内には「大学時代に初代の辛来飯と珈琲を頂きました」と、大物歌舞伎俳優によるサインも発見!

今夏、復活も!?

ミシュラン ビブグルマン、東京中華「百名店」にも選出

「大三元」の味な系譜

43年間にわたり愛された錦糸町「中国酒家 大三元」。オーナー齋藤喜仁シェフが率いたあの味を求め、脈々と受け継がれる系譜を辿る。さらに両店の先には、「大三元」復活の気配が見えてきた。



27年間、厨房で磨いた手技を披露



父から息子へ。名店のDNAを継ぐ

錦糸町 徳武

高校時代にアルバイトとして入ったものの、初めてまかないで食べた「サンラータンメン」に衝撃を覚え、料理人を目指すことに。以来、2023年の閉店まで27年、厨房で腕を振った徳武信哉さん。「“マスター”から学んだ毎朝のスープ作りは欠かせない儀式」と、鶏ガラと豚ひき肉、牛骨を丁寧に煮出したチンタンスープをベースに、大三元のメニューを忠実に再現する。大三元でも人気だった「汁なし辣醬麵」は、爽やかな辛みをもち歯応え抜群の通称“板カイワレ”に白髪ネギを混ぜ、シャクツ、サクツと響き合うような食感が魅力。熟成した醤油ベースの甘いタレに山椒をピリリと効かせ、クセになる味わいだ。



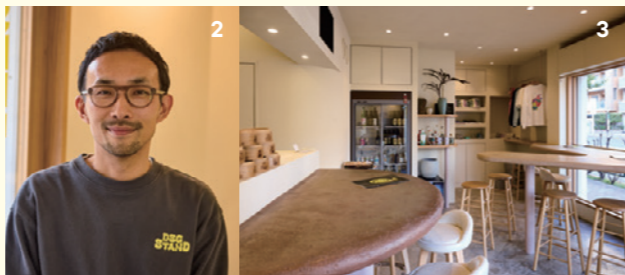
1.チンタンスープ付き「汁なし辣醬麵」¥1,400。2.「サンラータンメン」¥1,600。3.「マスター」は昔から市場で新鮮な魚介類を仕入れていたので、僕も欠かさず豊洲へ足を運んでいます」と徳武さん。2024年に開業し、現在は2ヶ月先まで予約が埋まる人気店。

◎ 東京都墨田区亀沢3-3-9 ダイアパレス錦糸町第2 1F
☎ 03-6381-3557
🕒 11:30~14:30(L.O.14:00)、17:00~21:30(L.O.21:00) 月曜定休(不定休あり)
📍 近隣にコインパーキングあり 🌐 tokutake.owst.jp

memo 撮影前日にも「マスター」が食事をしに来店していたという師弟愛。「まだ緊張しますよ。だからこそ、恥じない料理を心がけています」と徳武さん。

錦糸町 中華バル DSG STAND

「70歳で店を閉める」と父・喜仁氏の決意を知り、「大三元の名を残したい」と脱サラして「D(ai)S(an)G(en)STAND」を立ち上げた息子の喜正さん。名店の味をカジュアルに楽しめる中華バルは、父監修のもと「大三元」のレシピをベースにしたシュウマイが主役。「薄皮で肉肉しいので、一般的なカラシより酸味が合うのでは」と、喜正さんのアイデアで粒マスタードや地中海生まれの辛味ペースト、ハリッサを乗せ進化させた。「エビマヨ」や「アボカド特製ソース」など「大三元」譲りのタレを味わう料理も必食。クラフトビールや特製レモンサワーを求め、フラットと立ち寄ってみてはいかがだろうか。



1.海老や豚肉の旨みがぎゅっと詰まった「大三元シュウマイ 3色セット」¥800。「エビ蒸し餃子」や「肉ワンタン」など飲みも充実。2.齋藤喜正さん。元アパレルの強みを生かし、Tシャツやキャップなどオリジナルグッズも展開。3.三ツ目通りと北斎通りの交差点。

◎ 東京都墨田区亀沢3-14-15 ☎ 050-1035-2847
🕒 月~木12:00~22:00、金・土7:30~23:00(15:00~17:00はCLOSE)、日9:00~15:00※L.O.はそれぞれ30分前 定休日なし(月によって変動する場合あり)
📍 近隣にコインパーキングあり 🌐 dsq_stand

memo 「『いいじが作るシュウマイが好き』という息子の声も後押しになった」と喜正さん。シュウマイは急速冷凍で旨みを閉じ込めた持ち帰り用もあり。

恵比寿 コルシカ1970

“イタメシ”という言葉がまだ新しくあった時代、いち早くアルデンテの麺を提供した重本一夫氏の店「コルシカ」。「当時はまだイタリア料理が日本で認知されておらず、ピザを『洋風のお好み焼き』と説明したり、真っ黒なイカスミスパゲッティに衝撃を受けたお客様も多かったと聞きます」。そう話すのは、「コルシカ」で20歳から10年修業した北村新さん。その後、都内イタリアンや中国料理店で経験を重ね、2021年に閉店した「コルシカ」跡地で、創業年を冠した「コルシカ1970」を開いた。約50年前、かのイカスミは生臭く扱いづらい食材だったが、重本氏は玉ねぎの甘みとトマトの酸味でマスキングし、魚の出汁でコク

を出し、店を代表する一皿に。北村さんはそのベースを生かしつつ、出汁は魚のガラを焼いてから引き、さらに昆布出汁を重ね、香ばしさと深みを加えて昇華。多ジャンルで培った知見とコルシカ魂が生み出す料理に、先代から何十年と通い続ける常連客も多い。

Reborn

イカスミのスパゲッティ

フェネルなどのハーブとグリルしたトマトの旨みが、コク深いイカスミを引き立てる。「人生で初めてイカスミを食べたのはコルシカだった」と懐かしむ常連のお客も。¥2,800



1.イカスミがしっかり絡む太い麺。2.当時のまかないで北村さんが大好きだったカネロニ入りの「コルシカ風グラタン」は裏メニュー¥2,200。3.個室4席とカウンター8席。4.41歳にして料理歴は20年の北村さん。

memo ビルの建て替えで閉店が決まっていた「コルシカ」に、最後の一年、戻った北村さん。「閉店時は、店前から代官山まで200m近い行列でした」

参宮橋 ルスフレ

かつて西麻布に、甘い香りを漂わせ、大人たちを引き寄せた一軒があった。日本の洋菓子界の重鎮である故・永井春男氏が1985年に開いた名店である。2016年の閉店まで10年以上ともに厨房に立った息子の琢さんが、妻の珠璃さんと参宮橋に店を再開したのは2021年のこと。「誰もが安定して手に入る素材でお客様を感動させられなければ意味がない。そのためには一つ一つの精度を上げること」と語った父の教え通り、今もオーダーを受けてから一人前ずつ、生地と卵白を丁寧に合わせていく。その日の湿度やフレーバーによって、分量や混ぜ方も変わるといふ。「たとえばチョコはカカオ由来の脂分ゆえ卵白と分離しやすく、卵白は冷気にも弱い。先にチョコに熱を加え、卵白とつなぐための調整が欠かせませんし、型に塗るバターが均一でなければ、うまく立ち上がってもこない。わずかな誤差で生地は型から流れ、膨らみは割れてしまうんです」と、あくまで熟練の腕がものをいう。口にすれば一瞬で溶けて消えるふわふわのスフレ。一杯の尊さとともに、幸せな余韻を味わいたい。

Reborn

ヴァニラのスフレ

一番人気のヴァニラのほか、フランボワーズやチョコレートなど全15種類。故・春男氏が一番好きだったという「リンゴとカルヴァドス酒のスフレ」もファンの多い一品。¥1,100



1.熟々のアングレーズソースと。2.ソースパンやココットは40年以上の愛用品。3.「創業当初の店は実家の1階。夜24時まで働く両親を見て昔は継ごうと思えなかった(笑)」と琢さん。4.店頭には焼き菓子も。



恵比寿で半世紀にわたり愛された“イタメシ”

◎ 東京都渋谷区恵比寿南3-4-1 M-Tリアノン101
☎ 03-6826-2074 🕒 17:00~24:00(L.O.23:30) 不定休
📍 近隣にコインパーキングあり 🌐 corsica1970.com



甘い香りを漂わせたスフレの名店が復活

◎ 東京都渋谷区代々木3-39-15 ヴィラージュ1F
☎ 03-6276-7820 🕒 11:00~17:30(L.O.17:30) 月・火曜定休
📍 近隣にコインパーキングあり 🌐 lesouffle.nagai

memo 父・春男さんはかつて、日本の洋菓子界の礎を築いたとされる「オーボンヴェータン」の創業メンバー。

1

松任谷由実
「埠頭を渡る風」

「流線形80」
(1978/ユニバーサル TOCT-10639)収録

冬のドライブで向かう
都心から一番近い海

ドライブをテーマにした曲は数あれど、ユーミンほどの名手はいないだろう。時に具体的な地名や車名など取り入れつつ、唯一無二の世界を作り上げてしまう。1978年発売の6作目に収録されたこの曲は、客船ターミナルができる前の晴海埠頭が舞台。ゆるいカーブでわざと運転席の彼に倒れかかってみる主人公の姿が愛おしい。

4



竹内まりや
「PLASTIC LOVE」

「VARIETY」(1984/ワーナー WPCV-10040)収録

流行りと普遍性が同居する
シティ・ポップの代表作

竹内まりやの6枚目にしてSSWとしての転機となった代表作「VARIETY」に収録されたこの曲は、世界的シティ・ポップ・ブームの火付け役としても馴染み。煌めく都会生活を謳歌する女性を主役に据えたこの曲は、山下達郎と大貫妙子によるコーラスも絶妙だ。今ではすっかり聞かなくなったハロゲンライトというワードも眩しい。

7

吉川晃司
「モニカ」

「バラシュートが落ちた夏」
(1984/ユニバーサル UPCY-8029)収録

運転席からの視点で描く
アップテンポの失恋劇

「モニカ」は車を絡めて夏の別れを鮮やかに映し出し、大型新人・吉川晃司の存在を鮮烈に印象づけた。雨の夜バックミラー越しに見る彼女の姿、カーステレオで聴くカセットテープ、翌日の乾いた高速道路。この曲が収録されたデビューアルバムでは、やはり車が大きな役割を果たす「サヨナラは八月のララバイ」も聴ける。

2

須藤薫
「フロントガラス越しに」

「PLANETARIUM」(1983/ソニー CSDL-1295)収録

女性が免許を取り始めた
時代のムードを反映

1980年代前半のリアルな都会のライフスタイルを描いた「PLANETARIUM」の2曲目に収録された、珠玉のメロウ・グルーヴ。スキー場への道すがら立ち寄るドライブ・イン、カーステレオでかけるカセットテープなど、当時の甘酸っぱい青春のシーンがギュッと詰まっている。作詞は田口俊、作曲は須藤とのユニットでも知られる杉真理。

5

杏里
「DRIVING MY LOVE」

「Timely!!」(1983/フォーライフ FLCF-5038)収録

海沿いの道を駆け抜ける
ブリージーな恋心

愛車に片思いの彼を乗せて海へ向かう微妙な女心を、軽快なベースラインとハリのある歌声で描き出した1曲。80年代前半を代表する夏、そしてドライブの名曲だ。「CAT'S EYE」[悲しみがとまらない]も収録したアルバム、プロデュースはAOR/フュージョン的なトラックに海と車とアーバンライフを乗せて時代を牽引していた角松敏生。



8

亜蘭知子
「Drive to Love (愛の海へ)」

「MORE RELAX」(1984/ワーナー WQJL-152)収録

逸る気持ちを乗せた
鮮やかなシンセサウンド

シティ・ポップ文脈での再評価も著しい「浮遊空間」に続く亜蘭知子の4作目は、カシオペアのメンバーの全面協力によるアーバン&トロピカルな傑作。冒頭を飾る「Drive to Love (愛の海へ)」は、真夏を表現するヴィヴィッドな単語がちりばめられたハッピーでアッパーな1曲だ。今すぐ都会を抜け出し、海に向かって走り出したいくなる。

3

EPO
「PAY DAY」

「VITAMIN E・P・O」(1983/ソニー BVCK-17005)収録

週6勤務の時代における
ナイトライフと車の関係

「う、ふ、ふ、ふ」「土曜の夜はパラダイス」などの大ヒット曲を収録したEPOの4作目は、彼女のポップセンスが炸裂した、元気な時代の空気がバンバンに詰まったシティ・ポップの名盤。「PAY DAY」は給料日の夜に元彼と車で街に出る、刹那の罪悪感が楽しいナンバーだ。運転しながら聴けば、思わずサビを口ずさみたくなるはず。

6



松田聖子
「渚のバルコニー」

「Pineapple」(1982/ソニー MHCL-30111)収録

走り始めた恋の舞台は
車で行く海辺のリゾート

あの頃、ドライブデートの一番の目的地は海だった。松田聖子の黄金期を支えた作詞・松本隆×作曲・呉田軽穂(松任谷由実)によるこの曲にも、始まったばかりの恋の舞台として、夜から朝に変化する幻想的な色合いの海や砂の浮いた海沿いの道路が登場する。同作には同じソングライティングチームによる「赤いスイートピー」も。

9

稲垣潤一
「夏のクラクション」

「J.I.」(1983/ユニバーサル UPCY-6458)収録

国境や世代を超え愛される
夏の終わりの名バラード

海沿いのカーブに、クーペの後ろ姿とともに消える恋。夏の終わりの切ない情景が浮かび上がる、作詞・売野雅勇×作曲・筒美京平によるこの曲は、稲垣潤一の3作目に収められたメロウなバラード。クレイジーケンバンドからアンディ・ラウまでカバーが多いのも名曲の証だ。カーステレオ用カセットテープのCM曲でもあった。



REVIVAL
MEMORIES

いつだってクルマは走る小さなコンサートホールだった

音楽でよみがえるあの日

ハンドルを握るひとときを彩るのは、今も昔もカーステレオから流れる音楽。昭和リバイバルで再注目されるシティポップや、ピアノによるクラシックとジャズを再解釈する曲を携えて、太陽の光が輝く海へ、ネオンが煌めく街へ。かつて乗ったあの車の思い出とともに、ドライブへ繰り出そう。

Back to 80s

六本木や西麻布で夜を過ごし、湾岸道路を飛ばして海辺に朝焼けを見に出かけた元気な80年代のシティ・ボーイズ&ガールズ。彼らが主役の名曲たちは、40年後の私たちを、そして現代のシティ・ボーイズ&ガールズをも魅了する。車とともにあったあの頃の青春が眩しく輝く、そんな音楽を振り返ろう。



Sakurao Nakasui

TOUCH DRIVE PLAYLIST

Back to 80s



Spotify

アナログ時代の煌めきを
今に伝えるシティ・ポップ

近年、若い世代から熱い視線を集めている。昭和。最近では特に80年代の文化全般への関心が高く、アナログレコードやカセットテープの専門店が注目されたり、レンズ付きフィルムやインスタントカメラ、「OSAMU GOODS」など当時のキャラクターグッズが人気を集めている。海外での再評価を経て起きたシティ・ポップのブームは、そんなアナログな手触りに対しての新鮮な興味やノスタルジー、音楽志向のサウンドに漂う非日常感の求心力によるところが大きい。AORやフュージョン、ファン

クなどからの影響を反映したサウンドと、シティ・ポップをはじめとした都会のライフスタイルを描いた歌詞を日本独自の感性でまとめた当時の楽曲には、経済的繁栄を謳歌する都会生活者の感性が溢れている。恋愛に車が不可欠な時代だけに車やドライブが登場する曲も多く、煌めく街を眺めながらの深夜のクルーズをはじめ、夏のビーチや冬のゲレンデへのドライブシーンは、当時の曲に幾度となく描かれた。竹内まりや「PLASTIC LOVE」やEPO「PAY DAY」などには、自由な都会の女性と車とネオンライトがセットで現れる。一方、雪山へと車を走らせるのは須藤薫「フロントガラス越しに」の主人公。杏里


デートの格を上げる
スタイリッシュなクーペ

当時デートで好まれた車種が圧倒的に2ドアクーペだったため、クーペという単語が登場する曲は枚挙に暇がない。ドライブソングの金字塔「中央フリーウェイ」を書いた松任谷由実が「コバルトアワー」「DESTINY」「Covett 1954」などでクーペを登場させているから、「埠頭を渡る風」で2人が乗る車もきつとクーペだろう。一方、稲垣潤一「夏のクラクション」では去り行く白いクーペに彼女のエレガントなイメージを重ねているが、作詞を手がけた売野雅勇は大の車好き。他にも1986オメガドライブの「Aquarium in Tears」や伊藤銀次「SHADE OF SUMMER」「恋のリーズン」など、車にまつわる曲を数多く発表している。

いつもより少し派手めの服に身を包み、80sなBGMとともに海へ、街へ。きつと華やかなあの頃にタイムトリップできるはずだ。

「DRIVING MY LOVE」や亜蘭知子「Drive to Love (愛の海へ)」は真夏の海へと聴き手を誘う。松田聖子「渚のバルコニー」や吉川晃司「モニカ」などアイドルのヒット曲にも海辺の道が。吉田美奈子「海」や安部泰弘「トパーズ色の月」なども海と車の名曲だ。

1



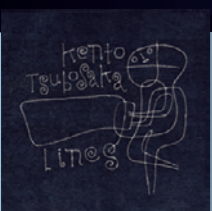
角野隼斗
「ショパンエチュード 変ト長調 Op.10-5『黒鍵』」、
角野隼斗:エチュード『白鍵』」

「CHOPIN ORBIT」(2026/ソニー SICC-30936)

現代的で自由な感性で
敬愛するショパンに呼応

ジャンルを超えて音楽を探究する角野隼斗の最新作は角野にとって特別な作曲家、フレデリック・ショパンを軸に置いたもの。ショパンの曲とそれに呼応する自作曲などを交互に並べた意欲作だ。華麗で軽やかなショパンの「黒鍵」から光が渦を巻きながら舞うような角野の「白鍵」への流れは、夜明けの海にも都会の夜にも合う。

4



壺阪健登
「Rhizome Changes」

「Lines」(2026/ユニバーサル UCCJ-2253)

最注目ジャズ・ピアニストの
誠実で心地よい即興演奏

世界を舞台に活躍する若手ピアニストによる2枚目のリーダー作にして初のピアノトリオでの作品。心地よい開放感とジャズへの愛が溢れる、深刺として瑞々しい演奏が印象的だ。ジャズの王道のコード進行であるリズム・チェンジを採用した冒頭の「Rhizome Changes」は、夜の始まりに街に滑り出す時の浮き立つ気分にぴったり。

7

ルドヴィコ・エイナウディ
「Le Onde」

「Solo Piano」(2026/ユニバーサル 882-3913)

映画的な情景を喚起する
静謐なメロディに感涙

クラシック畑出身ながら『最強のふたり』『ノマドランド』といった映画やCMの音楽も手がけるなど、多彩な活動を展開するイタリアの作曲家/ピアニストの最新作からの1曲。彼の曲はどれも抒情性溢れるメロディを備えているが、この曲も静謐な中に優しさが溢れる、繰り返し聴きたくなる魅力に満ちている。雨の日にも聴きたい。

2

ラン・ラン
「ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲 作品43より 第18変奏」

「ピアノ・ブック 2」(2025/ユニバーサル UCCG-1904/5)

ラフマニノフの名曲を
色彩豊かなピアノで表現

クラシックの枠を超えて活躍する大スターが2019年に発表した小品集『ピアノ・ブック』の続編からの1曲。ベートーヴェンやメンデルスゾーンなどの小品にくわえ、映画やゲームの音楽まで多彩な曲に挑戦している。ラフマニノフのこの曲はオーケストラと演奏されることが多いが、ラン・ランはピアノ1台で情感たっぷりにプレイ。

5

梅井美咲
「Go around in circles」

「Asleep Above Creatures」
(2025/Plum(es) PLUMESCD-001)

多様な要素が重なり合う
唯一無二のグルーヴ

高校時代から天才の名を欲しままにしてきた23歳による初ソロ作。大学ではクラシックの作曲を学んだ彼女はジャズをベースとしながら、フュージョンやエレクトロ、ポップとジャンルを自在に横断してみせる。これはヴォーカルも楽器の一部として重ねた、グルーヴ感満載のナンバー。夜の街へと走り出す時のワクワク感に満ちている。

8

ブラッド・メルドー
「Golden Slumbers」

「ユア・マザー・シュッド・ノウ・ブラッド・メルドー・プレイズ・ザ・ビートルズ/ブラッド・メルドー」(2023/ワーナー WPCR-18585)

ビートルズを換骨奪胎した
どこまでも優美なバラード

現代ジャズ・ピアノの重鎮、ブラッド・メルドーはこれまでクラシックからロックまで幅広い楽曲を取り上げてきた。そんな彼がビートルズに取り組んだアルバムに収録されたこの曲、オリジナルは劇的なアレンジが魅力だが、こちらは子守唄としての優しさに溢れた、穏やかに流麗な仕上がりに満ちている。雨の日にも聴きたい。

3

山中千尋
「Desafinado」

「Ooh-La-La」(2025/ユニバーサル UCCJ-2251)

ブラジルの風が吹き抜ける
心地よく快活なピアノ

NYを拠点に活躍を続ける超絶技巧のピアニスト、山中千尋によるデビュー20周年記念作からの1曲はアントニオ・カルロス・ジョビンのカバー。ヨシ・ワキ(b)とジョン・デイヴィス(ds)とのトリオで、軽快かつスリリングにボサノヴァの名曲を弾きこなしている。後半にいくに従ってラテンなテイストが加味され、心地いい。

6


フリクタオ
「Glitches」

「Lifestream 2」(2026/Avant Garden ※配信のみ)

Tik Tokで火がついた
クロスオーバーな新鋭

フリクタオはSNSで大ブレイクした、ロンドンを拠点に活動する若きピアニスト/作曲家。クラシックを現代的な感性で解釈した、アンビエントでありながらポップな風情も漂わせるクロスオーバーな曲と演奏で人気だ。第2弾EP収録のこれは、夜の雨の中を静かに走る時などに聴きたい曲。柔らかくもしっとりとした音響が美しい。

9



小曽根 真
「チェイシング・ザ・ホライズン」

「For Someone」(2026/ユニバーサル UCCJ-2252)

ジャズ界を牽引し続ける
ピアニストの灯す希望の光

世界を舞台に活躍を続けるジャズ・ピアニスト、小曽根真が立ち上げた新レーベルの第一弾作品は、小曽根と小川晋平(b)、きたいくにと(ds)とのトリオでの2作目。「chasing the horizon」は、夜のしじまにそっと滑り出すひとときに相応しいバラード。“地平線を追いかけて”とのタイトル通り、あてのない旅に出たくなる。



TOUCH DRIVE PLAYLIST

Piano Cruise → 

Spotify

夕暮れ時から夜にかけての浮き立つ気分を盛り上げるなら、ピアノが縦横無尽に駆け巡るような曲がいい。クラシック界の大スター、ラン・ランが全ての人にピアノの魅力伝えるべく選曲した小品集にも、現在はNYを拠点とする角野隼斗がフレデリック・ショパンの曲とそれに着想を得た自身の曲などを並べた新作にも、そんな魅力的な曲が収録されている。最近のジャズ・ピアニストのリーダー作にもそんなドライブにうってつけのものも多数。デビュー20年、ますます脂の乗る山中千尋の最新作や、バークリー音楽院を首席で卒業した若き俊英、壺阪健登の初のトリオ作からはジャズの楽しさがストリートに伝わってくる。ピアノ・トリオにクワイエスなエレキギター、声なども重ねカラフルで疾走感ある作品を仕上げた梅井美咲の最新作も素晴らしい。

一人しつとり心を鎮めたい時には、ブラッド・メルドーのビートルズ・カバーや小曽根真のトリオによる新作はどうだろう。美しく映像が浮かぶようなピアノで知られるイタリアの巨匠、ルドヴィコ・エイナウディの曲はまさに癒し。そしてそのエイナウディにも影響されたという、フランス出身でUKJAZZ発の新星、フリクタオのジャンルレスで流れるようなピアノも、静謐な深夜のドライブの最高の相方となってくれるはずだ。

カーオーディオの音質向上でピアノを堪能できる環境にカセットテープやラジオの音源を2〜4本のスピーカーカーで楽しんでいた80年代から40余年。カーオーディオの音質は日進月歩で向上している。今ではハイエンドオーディオブランドの妥協なきサウンドを車でも楽しめるようになり、遮音性も圧倒的に向上した。そんな音環境が実現したからこそ聴きたいのが、繊細な表現力をもつピアノをフィーチャーした作品。高揚感に満ちたジャズ・コンボの演奏と煌めく夜景のコンビネーションを楽しむべくハイウェイでのクルージングに出るもよし、繊細な音の粒を堪能するために静ま

り返った深夜の街を流すもよし。昨年来日したクラシックの人気ピアニスト、ブルース・リウも本誌インタビューで、運転が好きな理由として「車の中では頭を空っぽにして気分を落ち着かせられる」と語り、高速道路では必ず音楽を聴くと教えてくれたが、ハンドルを握り、ピアノの響きに浸る時間は、熱くなった頭をクールダウンするのにも役立つってくれる。ここではジャズやクラシックのトップ・ピアニストや、ジャンルの境界線を自由に越える若き才能による作品を紹介したい。

多彩な個性の演奏家たち

Piano Cruise

ハイエンドなオーディオブランドの参入で格段に向上した車内音響。ピアノの繊細な音色を活かした曲も、くっきりと鳴りしてくれる。今宵はピアノの音色にふたたび酔いしれる、ジャズやクラシックの名曲や新潮流に耳を傾け、ネオンが煌めく街に出掛けよう。

1994年の誕生以来、日本を代表するクラシック音楽専用ホールの1つとして、多くの演奏家や音楽ファンに親しまれてきたしらかわホール。名古屋の文化的中心地に位置するこのホールは、国内有数の音響性能や、環境と見事に調和する佇まいなどで高く評価されてきたが、2024年2月に惜しまれながら閉館していた。

そのしらかわホールが、2026年3月24日、遂に復活を果たした。再生のきっかけとなったのは、1台のスタインウェイのピアノ。閉館に伴いピアノの引き取りを打診され、初めてホールを訪れた関係者が、このホールの状態の良さを見て直感的に感じたのは、「未来に残さなくてはならない」という思いだった。そして存続を願う約1万2000筆もの署名が集まっていたことを知り、あらためて、このホールをなくしてはならないと「しらかわホール再生プロジェクト」の立ち上げを決意したのだという。その後、文化芸術を愛する複数の企業や個人の出資で新たな運営会社が誕生。この地で生まれた音楽文化の灯火を絶やさぬよう活動を開始した。

再開に向けての改修に当たっては、鑑賞環境の改善はもちろん、クラシック音楽の新しい鑑賞体験の提案や、障がいのある人や病気で寝たがりの状態の人など、従来の会場では鑑賞が困難だった人たちも幅広く利用できる「ファンボックス」の設置など、新たな挑戦も図られている。誰もが素晴らしい音楽を享受でき、未来に羽ばたく若き演奏家たちにとっては夢の舞台となるような、街と人にひらかれた場所。音楽を愛する人々の思いが、しらかわホールに命を吹き込み、未来に向かって輝き続ける劇場へと育てていく。

一台のピアノが繋いだ、復活への奇跡のSTORY



再会をはじめり しらかわホール 再始動

音楽には力がある。カーオーディオから流れていた音楽があったからこそ、私たちは車窓越しに見たあの景色、大切な人と語り合った時間——あの日の記憶の輪郭をいまでも心にとどめ、人生の物語として未来に語り継いでいけるのだろう。そんな音楽のもつ力がいま新しい未来を創ろうとしている。2024年2月に閉館した名古屋市中心部の音楽の殿堂・しらかわホールが、存続を願う人々の熱い想いを受けて遂に復活。名ホールが街と人と協奏する「ひらかれた空間」として生まれ変わった。TOUCH DRIVEも存続を願った人たちと同じように、音楽の力を信じて、この再生プロジェクトを応援していく。

words Shiyo Yamashita

音に包まれるような感覚が得られる、美しいシューボックス型のホール。その音響の素晴らしさは国内外の名だたる指揮者や演奏家も絶賛している。

MORE

HARMONY WITH YOU

3月24日復活公演レポート



現代最高のピアニストが
再びしらかわホールに降臨

ここに再び戻ってくることができて光栄です。
ここは本当に素晴らしいホールです。
完璧な雰囲気、美しい音響。
特別で親密な音楽づくりのために、
このような空間があることは本当に素敵なことだ
——アンドラーシュ・シフ



Sir András Schiff

サー・アンドラーシュ・シフ

1953年ハンガリー生まれ。2014年に英国よりナイト爵位を授与、2025年に高松宮殿下記念世界文化賞を受賞。古典派の権威として、J.S.バッハ、モーツァルト、ベートーヴェンの解釈で世界的な基準を確立。思索的で気品あふれる演奏スタイルが特徴。著書に『静寂から音楽が生まれる』（春秋社）がある。



去る3月24日(火)、しらかわホールの再開館記念公演として「サー・アンドラーシュ・シフ ピアノ・リサイタル 2026」が開催された。現代最高のピアニストとも称されるサー・アンドラーシュ・シフは、2014年3月にしらかわホールの最後の主催公演を行った、会場との縁の深い人。再開のタイミングでの記念すべき公演ということもあり、チケットは瞬間に完売となった。

シフの多くの公演と同様、事前の曲目発表はなし。ヴァイオリニストの塩川悠子を妻にもつ彼だけに、今回は全曲日本語で曲紹介を行うというスタイルが取られた。最初に披露されたのはJ.S.バッハ「ゴルトベルク変奏曲 BWV988アリア」。その後、ハイドン、モーツァルト、シューベルト、ブラームス、ショパンの有名曲の数々をたっぷり披露。アンコールも8曲！ 最後はJ.S.バッハの「イタリヤ協奏曲 へ長調 BWV971 第3楽章」。万雷の拍手とともに、温かな雰囲気にも包まれた約3時間のリサイタルは終了した。

「ファンボックス」は コンサートの 新しい価値を育む場所。

「ファンボックス」は、音楽を愛する個人のご利用はもちろん、企業のホスピタリティ活用も視野に入れ、新たに設けられた特別個室。2027年4月から年間契約のみ可能で、芸術文化を共に支えてくださる応援団を募集しています。全8室は1室6人定員で、バルコニーには生音が聞けるベンチシートも完備。今秋以降、完全防音のガラス張り仕様の個室では、高音質スピーカーを通して演奏を聴きながら、モニターで演奏者の表情や手元の映像を見ることができる予定で、ファンボックス専用メニューのフード&ドリンクとともに、会話を楽しみながら周囲に気兼ねせず鑑賞することが可能となります。



MORE HARMONY WITH YOU

完成形を持たないコンサートホールへの挑戦

1. 広々としたエントランスホール。コンサートを前に高揚した気分をさらに盛り上げてくれる。
2. ホール改修設計を担当した中村勉総合計画事務所の中村勉氏と改修工事を手がけた株式会社芳賀沼製作の芳賀沼伸氏。東日本大震災後に連携してログハウス仮設住宅などを行った間柄。
3. 落ち着いた雰囲気の回廊式ホワイエ。開演前の時間をゆったりと過ごせる。
4. 「ファンボックス」は2階サイドに8室、1階最後部に特別室として1室を新設する工事が行われた。



再生プロジェクトが目指すのは、アーティスト、オーディエンス、地域の人たちとの協奏を通じて、挑戦と革新を続けていく「完成形を持たないコンサートホール」。クラシックの名ホールとしての役割とレガシーを受け継ぎながら、柔軟な考えのもとで、時代に沿う新しい音楽の鑑賞スタイルを提供し、若い演奏家の挑戦を支え、音楽文化の未来を切り拓いていく。

緩やかな曲線を描く天井、サクラの床材、レッドオークで装飾された壁面。プロ・アマ問わず、かつての名演奏の豊潤な音で満たされた静謐な空間は、ホールとして良い状態に保たれていたが、オープンから30年以上が経った施設は、現代の基準に合わせて様々な部分をアップデート・再生する必要があった。

今回の改修工事を手掛けたのは、まさに再

生のプロたち。ホールの改修計画全体を担当したのは、中村勉総合計画事務所と福島県南会津の株式会社芳賀沼製作。彼らは共に、東日本大震災や能登地震の復興プロジェクトに深くコミットしてきた。一方、音響設計は32年前のホール建設時と同じ、ヤマハ株式会社の音響空間グループが監修。様々な調整を行うことで、これまで以上にクリアで繊細、かつ温かみのある、新たなしらかわホールの音が生まれた。

2025年10月のテスト演奏会に出演したヴァイオリニストのダニエル・ゲーデは「これほど素晴らしい音響のホールは本当に稀」とコメント。今年も既に注目の演奏会がいくつも予定されている。この音に浸るために、名古屋まで愛車を走らせる価値は十二分にあるはずだ。



BANG & OLUFSEN

次の100年の
はじまり

2025年に創業100周年を迎えた
Bang & Olufsen。
「常に最高のものだけを生み出す」という
創業時の理念は今なお不変であり、
未来を照らす誓いとなる。

words Tetsuya Sato

Beosound Premiere 本体のみ
¥595,000、カバー付き¥640,750～、
Haute Edition¥1,829,500

Beosound Premiere



ものづくりの魂が結実した
空間オーディオの最新作

1925年、2人の若きエンジニアが自宅の屋根裏部屋からスタートしたBang & Olufsen（以下B&O）。彼らを祖として、B&Oが歩みを刻んだ100年の歴史において、ものづくりの根幹を支えたのが、音響、デザイン、そしてクラフツマンシップである。相互に影響し合う3本柱が、オーディオとホームエンターテインメントの歴史を形作り、心地良い暮らしの空間と上質な時間を育む、北欧流、ヒューゲンライフスタイル形成にも寄与することとなった。そして、来るべき次の100年に大きな期待をつなぐのが、最新の空間オーディオ「Beosound Premiere」だ。映画監督やエンジニアが意図した音世界を再現したかのような没入感溢れる異次元のリスニング体験は、お気に入り

1.写真のナチュラルを含めた全3色展開。2.フロントカバーは「オーク」「グレーメランジ」「ダークオーク」の3種類から選択可能。3.B&Oのビスポーク専門アトリエで製作されるハイエンドモデル「Haute Edition」は限定25台。4.単体でも使用できるが、システムの拡張に合わせて機能が適応。スピーカーなど、他のB&O製品を追加することでリスニング環境に応じた理想のセットアップが構築できる。

のエンターテインメントの中心へと鑑賞者を誘う。忠実かつ高精細なサウンドに音響技術へのこだわりを感じ、ヴァインテージとモダンテイを両立したタイムレスな佇まいにデザインへの美学が宿る。そして、細部と品質への徹底した執着は、クラフツマンシップの賜物であり、先述のブランド哲学がプロダクトを通して体現されている。なお、本製品の広告ビジュアルは、2016年発売のテレビ「Beovision Horizon」の幕が開くディスプレイ演出を想起させるもの。こうしたシアトリカルな遊び心も、B&Oの真骨頂といえよう。



B&O製品をフルラインナップで揃える旗艦店

製品に関する相談はもちろん、B&Oの認定インストーラーによる購入後の設置や既存製品とのシームレスな統合など、空間に合わせて最適な調整を行う。製品に不備が生じた際の迅速な修理対応や、アフターサービスも万全。また、店頭ではカラーや素材をカスタマイズして自分好みに上げることができるアトリエサービスも展開する。

Bang & Olufsen 表参道 渋谷区神宮前4-12-10 表参道ヒルズ本館1F 03-6263-8957

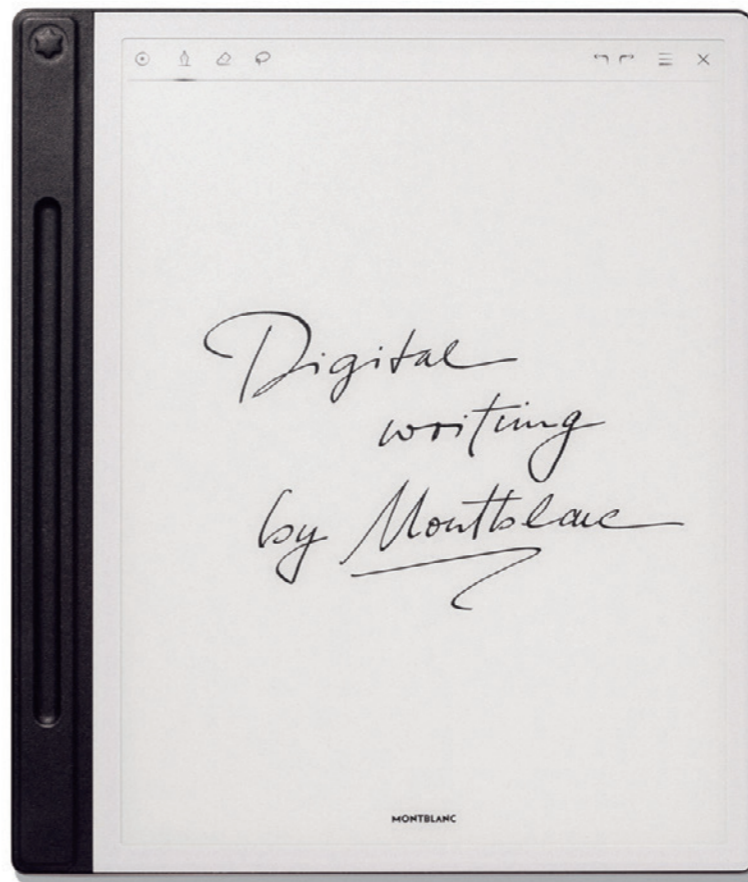
ATA PARKING LOT

GADGET

伝統も革新も載せて
ペンは走るよどこまでも

歴史と伝統が息衝くモンブラン。手書き文化を尊ぶ名門ブランドによって、「筆記具」が刷新された。デジタルペンが辿るその先に新たな体験が生まれる。

words Tetsuya Sato



モンブラン デジタルペーパー

1.紙のような液晶キャンバスと、「筆記具の王様」マイスターシュテックからインスパイアされたデジタルペン。¥130,900 2.上質なフルグレインレザー製のフォリオは、裁断や縫い合わせなど熟練職人が手作業で仕上げた。フォリオ¥29,150 3.専用アプリを使えば、書類に手書きを添えたり、メモの共有がより簡単に。4.エンボス加工のモンブランエンブレムがクラス感を演出する。モンブランお客様サポート ☎ 0800-333-0102



記憶と衝動を書き留める
新時代の「旅の必需品」

モンブランの万年筆なしで旅をしてはいけない。これは1920年代に発表された有名な広告コピーである。それからおよそ100年。ペンがスマホに変われど、旅先から「旅の便り」を送るのは今も日常的な光景だ。そんなありふれた1シーンに彩りを添えるのが「モンブラン デジタルペーパー」だ。デジタルペンと液晶ディスプレイがセットで、リネン、マット、スムーズと異なるキャンバスに書いている感触が味わえる3種の交換チップが付属。主役のペンは、万年筆、ボールペン、書道ペン、鉛筆など複数からセレクトができ、各ペン先から伝わるインクの滴りや滲みの表情、筆圧の加減など、デジタルでありながらモンブランらしくフィジカルな書き心地をことごとく追求している。メモやコメントを素早く記入でき、優れた検索機能で瞬時にサルベージが可能。同期させたメールやアプリを使ってアイデアを共有したり、記憶に留めたい旅先の風景をスケッチしたりと、楽しみ方は実に幅広い。傑作筆記具から着想を得たペンには、単なるツールを超えて、所有欲を満たす嗜好品の風格すら漂う。ペンを走らせる喜びを掻き立てる逸品を、旅の必需品に加えてみてはいかがだろうか。

FPM MILANO

PHOTOGRAPHY Kevin Chan STYLING Hidetoshi Nakato WORDS Kyoko Chikama

遅く美しい
スーツケースと
旅に出る

気の向くままに楽しむ旅の相棒に、
エフピーエム ミラノのスーツケースを。
いつもの旅をさらに特別なものにしてくれる。

旅をリュクスに彩るスーツケース

日常で使うバッグと違って、スーツケースは頻繁に
買い替えるものではない。だからこそセレクトに迷うと
ころだが、さまざまな思い出と共に重ねる旅の相棒と
考えると、自ずと答えは見えてくる。機能的で使い勝
手がいいのはもちろん、愛車の荷室などから取り出し
た際に心が躍るデザインだとより愛着が湧くだろう。

クラシックとモダンが融合したデザインが支持され

ているエフピーエム ミラノでは、一生愛したくなるスー
ツケースを展開している。そもそも日本に本格上陸を
果たしたのは2025年だが、1946年にイタリア・ミラ
ノで創業したプレミアムラゲッジブランドの老舗。ヴィ
ンテージのトランクからインスピレーションを受け、現
代的に再解釈したコレクションを発信し、旅慣れた世
界中のジェットセッターに愛され続けている。

ブランドの象徴でもあるのが、世界的なデザイナー
であるマーク・サドラー氏とのコラボレーションで誕生
した「BANKコレクション」だ。蝶の形を模した金属プレ
ートをひねって開閉する独自のバタフライロックを
搭載し、堅牢性とデザイン性、TSA対応の安全性ま
でも装備。さらに重厚なアルミニウムボディとレザー
製ハンドルのコントラストも印象的で、プロダクトとし
ての高い機能美も放っている。リズムカルに施された
128個の鉚(リベット)は、全て職人の手打ちというこ
だわりよう。美しくて使い勝手もよく、クラフツマンシ
ップも感じさせるエフピーエム ミラノのスーツケース。手
に取ったら、旅慣れた大人を魅了する理由がわかる
だろう。そして旅の相棒を迎えたいくなるはずだ。



上/内装のベルトにもレザーを使用。開
けたときに気分が上がるだけでなく、スー
ツケースと共に経年変化も楽しめる。
下/レザーハンドルを自分好みに変更で
きるオプションサービス(¥19,800)も展
開。この5色は日本限定カラー。



左、下からSpinner76 チェックイン¥385,000、Spinner68 チェックイン
¥366,300、パニティケース¥215,600、右Spinner55M キャビン
¥332,200(すべてエフピーエム ミラノ/エフピーエム ミラノ ショールーム)



大型車対応の駐車場も完備する旗艦店

2025年12月にオープンしたFPM MILANO 表参道は、日本
初のフラッグシップショップ。イタリアのクラフツマンシップとモダ
ンなデザインが融合した店内には、カスタマイズサロンも併設。
ブランドの世界観を堪能できる空間で、ぜひ上質な体験を。

FPM MILANO 表参道

☎ 東京都渋谷区神宮前4-24-17 ☎ 03-6804-3716

全国主要都市にて、製品を実際に目にしながら選べる
LIMITED CONCEPT STOREも開催

4/8(水)-7/28(火)	名古屋松坂屋 北館1F イベントスペース
4/29(水)-5/5(火)	大阪高島屋 1F グッドショックプレイス
5/27(水)-6/9(火)	ISETAN SALONE 1F プロモーション
6/3(水)-6/16(火)	銀座三越 本館5階 GINZAステージ

ATA PARKING LOT

HOTEL

居心地のよい
東京の空へ

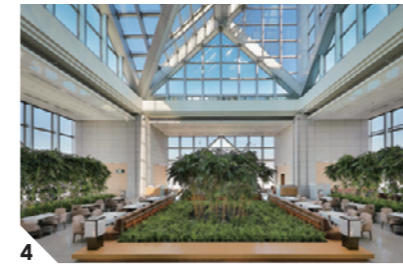
時代を彩ってきたホテルの空に、
今、新しい景色が広がっている。
長い歳月を経て、再構築された上質な空間には、
唯一無二の物語が宿っている。

! WORDS Tetsuya Sato

パークハイアット 東京

1.360度遮るものがない眺望はまさに壮観。2.「ジランドール by アラ
ン デュカス」では、パリのエスプリに食材本来の風味を重ねた、洗練
された料理が堪能できる。3.大理石のバスルームを備えた「ディプロ
マットスイート」。4.一面のガラスアトリウムに竹の緑が広がる「ピーク
ラウンジ&バー」は、昼夜で異なる表情を見せる。

© tokyo.park.hyatt.jp



4



3



2

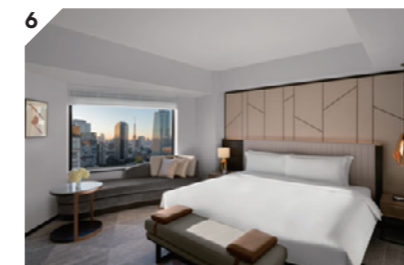
2025年12月にリニューアル
オープンを果たしたパークハイ
アット東京。全1771室の客室
やラウンジを、パリ・モンパルナ
ス駅の再開発などを手掛けたデザ
インスタジオ「ジュアン・マンク」
が刷新。開業以来のオリジンに継
承しながら、時代性を反映してモ
ダンに再解釈した。壁や床、配管
など既存構造と設備の改修のため
ほぼ全館をスケルトンにしてから
1年半の歳月をかけて再構築。新
たな建材を用い、特注の家具を設
えて、新築と遜色ないクオリティ
を実現した。より静けさと温もり
に満ちたサンクチュアリのような
空間へと改装する一方、数多の賓
客をもてなした「トキキョース
イート」や、最上階のレストラン
「ニューヨークグリル&バー」は、
往時の佇まいを丁寧に再現。歴史
の面影を残しつつ空調や水回りの
システムを改善し、最新技術を導
入しながら快適性を高めている。
一方、ANAインターコンチ
ネンタルホテル東京は、15ヶ月
に亘る大規模改修が完了。「GOS
Reborn」をテーマに、客室とラ
ウンジなどを全面リニューアル。
ホテルのアイコンともいえる「ア
トリウムラウンジ」と「カスケイ
ドカフェ」の刷新も含めて、より
洗練された空間へと再生を遂げた。

伝統と時代性が邂逅して
生まれ変わった名門ホテル

ANAインターコンチネンタルホテル東京

5.総席数74席を備える宿泊客専用のラウ
ンジ「クラブインターコンチネンタル」。皇居
や国会議事堂といった東京ならではの眺
望を背景に、専属スタッフによるパーソ
ナルサービスや豊富なフード・ドリンクメニュー
が楽しめる。6.新設された「空スイート」に
は、折り紙モチーフの幾何学模様をあし
らった家具や日本的な色彩の設えなど、和
の美意識が細部に通底する。

© anaintercontinental-tokyo.jp



6



5

イタリア最古の
アイウェアブランドで、
この夏を愉しむ



ROME 1

アーカイブから着想を得たウェリントン型の「ローマ」。肌馴染みの良いカラーリングと、紫外線を約99%カットするブラウンレンズがポイント。

ADAGIO 4

大胆で力強いスクエアシェイプが印象的な「アダージョ」。フロントに配した「L」メタルロゴやテンプルに刻んだ5ラインが、上品なエレガンスを演出する。イタリアらしいアズーロ(青)のグラデーションレンズは、紫外線を約99%カット。運転時には、車体やガラスの反射光をブロックし、安全な視界を確保する。

サマートリップ、とりわけドライブ旅の必需品がサングラスだ。今回、紹介するロッツァは1878年創業の由緒あるアイウェアブランド。先日開幕した「ミラノ・コルティナ冬季オリンピック」の記念限定モデルが話題を呼んだのも記憶に新しい。アルチザンが息衝く伝統的なものづくりを根幹に、イタリアのアイデンティティや独自のスタイルを体現したプロダクトは、2021年に同国の経済開発省より「国益に資する歴史的イタリアブランド」として表彰。現在では世界中の洒

落者を魅了し続けている。また、拠点を置くカドーレがある北イタリアには、著名な自動車メーカーやカロッツェリアが数多く存在するなど、実はモビリティとの親和性を見出すこともできる。エンジニアリングとプロダクトデザインという異なる世界が、旅を媒介に「イタリアの文化」という共通言語で結び付く。彼の地に想いを馳せ、優れたデザインが生まれる背景を知れば、さらにロッツァの魅力も深まるはずだ。サングラスともに¥41,800(デリーゴジャパン © 03-6265-4878)

PRESENT 読者プレゼント

読者アンケートで
プレミアムな逸品を
抽選でプレゼント

読者アンケートにご協力ください。
お答えいただいた方に、抽選で
ご希望の商品をプレゼントいたします。
右記QRコードより回答をお願いいたします。

※プレゼントの詳細は、本誌同梱の宛名が
記載された用紙をご確認ください。



LOZZa
サングラス



CLARINS
美容液



BONAVENTURA
スーツケース

読者アンケートは
こちら



McLAREN

マクラーレン流の
ハイブリッドスポーツ

マクラーレンの走りの哲学は内燃機関でなくても味わえる。それを証明するのが、ハイブリッドスポーツカーのアルトゥーラである。ハイブリッドという技術、存在に魅力を感じないという人でもそのマクラーレン流の世界観は、刺激的に選択肢になるはずである。

WORDS Taichi Fujino



McLaren Artura

ハイブリッドは次なる情熱の
走りの序章である

2026年シーズンのF1マシンのハイブリッドパワーユニットは、モーター出力の比率が大幅に高められ、異次元の加速とコーナリング性能を発揮している。ハイブリッドは究極のモータースポーツの世界においても主役になった。そうした電動化の流れは市販車にとっても例外ではない。マクラーレンは2013年に世界初のハイブリッドスーパーカー「P1」をデビューさせた。そしてその後続くハイブリッドテクノロジーをいまに受け継いでいるのがPHEVの「アルトゥーラ」だ。モーターやバッテリーなど電動化による重量増に対しては最新のカーボンモノコック(MCLA)をはじめ、エンジン本体やハーネス類に至るまで軽量化を実施。車両重量は1498kgとハイブリッドカーとして異例の軽さを誇る。実際にアルトゥーラは動き出しから軽快で、まるで小さな車を運転しているように感じる。そしてモーターのアシストにより低回転域からラグタイムなく加速する。スーパーカーとは思えない快適な乗り心地、路面追従性のよさもマクラーレンモデルに共通する美点といえる。そして何よりも「M630T」エンジンのフィーリングが素晴らしい。低速では電動走行可能なのももちろんハイブリッドであることは理解しているが、それを忘れてしまいうようなほどだ。ピュアな内燃エンジンじゃなきゃ、V8じゃなきゃ、という固定観念は捨てて試してみる価値はある。

2

ENGINE



3

E-MOTOR



1.圧倒的な加速性能を有しているアルトゥーラ。システム最高出力は700PS、最大トルクは720Nm。2.エンジンは完全専用設計の3リッターV6ツインターボ「M630T」。3.高出力エンジンに組み合わせるのが、小型で高トルクを発生するアキシアルフラックス Eモーターだ。4.レース仕様のGT4。こちらが搭載するのも「M630T」となる。

4

Artura GT4



多彩なオーナーイベント

マクラーレン東京ではプロドライバーによるドライビングレッスンやツーリングなど、年間通じて多彩なイベントを開催しています。イベントの詳細や最新ニュース、中古車在庫などHPよりご確認をいただけます。

マクラーレン東京

◎ 港区赤坂7-1-1 青山安田ビル1F
☎ 03-6438-1963
🕒 10:00-18:00 水曜定休



REBIRTH ED BY THE SEA

海で再生する記憶の旅

サイドウィンドウを下げると聞こえてくる潮騒。
薫る海風。どこまでも続く群青の水面が
かすかな青春の記憶を呼び覚ます。
あの懐かしい日々を辿る自動車旅に出かけよう。

PHOTOGRAPHY Atsushi Makabe WORDS Koichi Yamaguchi



BIRD HOTEL

江ノ電由比ヶ浜駅・由比ヶ浜海岸ともに徒歩約3分。潮風薫る300坪の敷地に全6室を擁するオーベルジュ。築50年の保養所をリノベーションした建物に、インテリアデザインスタジオTRIPSTERが手掛けた落ち着いた空間が広がる。レストラン「THE TABLE」では三浦漁港直送の魚介や鎌倉野菜など、地の食材を自家製発酵調味料と組み合わせた鎌倉で生まれる豊かな食を活かしたコース料理を提供。テラス席ではペットの同伴も可能。

- 📍 神奈川県鎌倉市由比ヶ浜4-8-1
- ☎ 0467-84-7311
- 🚗 3台(要予約、¥4,000/泊) 🚫 無し
- 🌐 birdhotel.jp

REBIRTHED BY THE SEA

居心地のよい由比ヶ浜のオーベルジュ

潮風薫る由比ヶ浜
再生の物語が宿るホテルへ

由比ヶ浜は、海からの潮風が低地へと自然に流れ込む稀有な地区だ。ミネラルをたっぷり含んだ海風が包み込むこの地は、企業の保養所や別荘が立ち並びリゾート地として栄えた。築50年を超えるその一棟が、長年の眠りから覚め「BIRD HOTEL」として2022年に再生を遂げた。

手掛けたのは、再生プロジェクトを得意とする株式会社GREENINGだ。今ある建物に息を吹き込み、街と人との繋がりを育みたいという想いのもと、外壁は白からグレーージュへと纏い直され、往時のままのテラコッタ屋根とアーチ状の硝子エントランスが保存されている。

同ホテルの原点は、同社が鎌倉の文人アトリエを改修して開いたレストラン「GARDEN HOUSE KAWAKURA」にある。食事の時間を越えたホスピタリティを追求した末に、ゲストとより深く向き合う場として、ホテルという形が選ばれた。

レストラン「THE TABLE」では、三浦漁港から直送される魚介、鎌倉野菜、神奈川県産の肉を、柚子胡椒やしおといった自家製発酵調味料と組み合わせる。フレンチの技法で仕上げながら、器も調味料も日本の美意識で整えた料理。

ここを拠点に2泊3日の家族旅を描いてみたい。交通量が多く駐車場も少ない葉山・鎌倉エリアだが、ホテルに愛車を預ければ徒歩と電車で自在に巡ることができ、江ノ電で稲村ヶ崎へ足を伸ばし、サンセットに染まる富士山を望むのもよい。翌朝は山岳トレイルへ、またはカヤックやSUPで海と向き合う時間も旅の深みを増す。アクティビティを終えた後は、同社が運営する「御成桑拿」でサウナに身を委ねれば、心身の疲れが静かに解けていく。

愛犬との旅を歓迎しているのもこのホテルの個性だ。ドッグフレンドリールームを備えるほか、食事の場面でも愛犬用のドッグプレートが用意されており、飼い主と食事の時間を分かち合える。

世界中から羽を休めに鳥が集うように——BIRD HOTELは家族と愛犬とともに、心ごと再生できる宿だ。





7

鎌倉の食と 6つの部屋が宿す物語

6室という小さな宿には、それぞれに異なる時間が流れている。テラスで潮風を感じながら朝を迎える部屋、愛犬と同じ空間でくつろぐ部屋など、全3タイプ——TRIPSTERが手掛ける館内は、自然素材の温もりとモダンな静けさを兼ね備え、訪れる者を日常から解き放つ。四季の草花が彩るガーデンを望む広々としたテラス席、落ち着いたラウンジやバーも、滞在に豊かなリズムを添える。

BIRD HOTELの食の根幹を成すのは、厨房で仕込む自家製の調味料と、素材への真摯な向き合い方だ。大豆・麦・塩・水を麹で発酵させたひしお、日本酒に梅干しや鰹節を加えて煮詰めた室町時代から伝わる煎り酒。メイン料理には薪や藁を用い、香りと火入れで素材の個性を引き出す。鎌倉野菜の皮から引いたベジブイヨン、豆腐づくりから生まれるおからも次の皿へと姿を変え、食材の命を繋ぐ営みがコース全体に物語をもたらす。

愛犬には、塩を使わずに蒸し炊きした根菜と鶏ささみのドッグプレートが供される。飼い主とともに食卓を囲めるこの宿で、人も犬も、等しく満たされていく。



6

6.自然光が心地よく差し込むテラス付きのドッグフレンドリールーム。愛犬とともに、潮風を感じながらくつろぎの時間を過ごせる。7.愛車を間近に眺めながらゆったりと過ごせるラウンジ。クルマ好きにとっては、それ自体が特別な滞在体験となる。



1

1.保養所として建てられた当時のままのドアと色硝子が出迎えるエントランス。2.鎌倉の豊かな食を提供するこのレストランからBIRD HOTELの物語は始まる。3.三浦漁港直送の魚介や鎌倉野菜を、自家製の発酵調味料と薪・藁の火で仕上げたコース料理。4.築50年の面影をそのままに残す色硝子。5.旅の夜をゆるやかに過ごすバー。手仕事のシロップで仕立てたカクテルを片手に、一日の余韻に浸る時間もまた、この宿ならではの楽しみ。

REBIRTHED BY THE SEA



鎌倉で心身を整え オーベルジュの夜へ

オナリサウナ 御成桑拿

鎌倉駅西口から徒歩3分、御成町の路地に佇むコミュニティサウナ。BIRD HOTELと同じGREENINGがプロデュースする。独自の吸気システムと2種の水蒸気が混ざり合うサウナ室は、苦しくなく居心地がよいのにしっかりと熱い。さらに独自のサウナ体験「ヒューマンロウリュ」が、深い没入感へと導く。屋上ウッドデッキでの外気浴も格別。鎌倉観光やアクティビティ後に訪れ、BIRD HOTELへと帰るプランが、心身の再生を完成させる。

- ◎ 神奈川県鎌倉市御成町10-24
- 🕒 平日 11:00~22:00、土日祝 9:00~22:00 不定休
- 🌐 onari-sauna.com



3



2



5

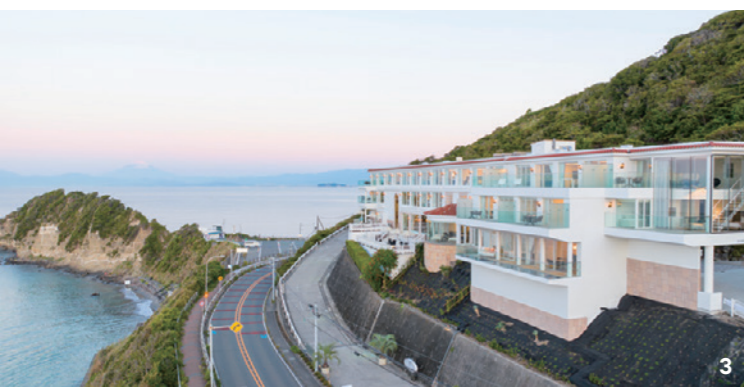


4



2

REBIRTHED BY THE SEA



3



1.開業時から変わらぬ石造りのファサードが40年近い歴史の重みを静かに伝える。2.吹き抜けのロビーには開業時のシャンデリアが輝き、相模湾の青が目飛び込んでくる。3.地中海の高級リゾートを思わせる白亜の外観はリニューアルを経た今も往時のまま。4.眼下に相模湾が広がり、右に伊豆半島、左に三浦半島を望む圧巻の絶景テラス。

1

海を独り占め 生まれ変わったクラシックの別格

晴れた日にはテラスから富士山が姿を見せるこの絶景は、何もしない贅沢を格別なものにする。客室にはアルフレックスの家具を取り入れ、開業当時のシャンデリアを残したロビーとともに、時を超えた品格を湛えた空間が生まれた。レストランでは、年間3000、400頭しか出荷されない希少な葉山牛、三崎港直送のマグロ、相模湾の魚介を、オテル・ドゥ・ミクニで腕を磨いた総料理長が四季折々のフレンチコースに仕立てる。新たに変わった鉄板焼は6席のみの贅沢な設えで、目の前で繰り広げられる調理の所作もまた体験の一部となる。夕陽が相模湾に沈む時間に合わせてディナーを始める。月明かりに揺れる水面を眺めながら夜を過ごせば、アニバーサリーの記憶は深く刻まれる。ドッグフレンドリールームも1室用意されており、愛犬とともに特別な滞在を過ごすこともできる。



4

葉山の高台に
40年の歴史と品格が息づく宿

右手に相模湾を眺めながら134号線を南へとクルマを走らせていると、ふと懐かしい音楽を流したくなる。青春時代に幾度となく訪れたこの道で、記憶の断片が鮮やかに蘇る。やがて左手の丘側に弧を描くようにのぼる小道が現れ、その先に「葉山ホテル音羽ノ森」は静かに佇んでいる。

1987年、葉山の海を見渡す高台に立つ海の家土地に一目惚れしたオーナーが、「湘南エリアで最高のホテルをつくる」という信念のもと開いたリゾートホテルだ。それ以来、地中海の高級リゾートを彷彿とさせる白亜の外観と吹き抜けのロビーで人々を迎えてきた。現代フランスを代表する画家アンドレ・ブラジリエの作品をはじめ、オーナーがコレクションする絵画が客室やロビーに飾られ、洗練された美意識が館内の隅々まで息づいている。

2021年から約2年をかけた大規模リニューアルで、ホテルは新たな命を吹き込まれた。20室を15室に絞り込み、全室を広々としたスイートへと一新。全室にオーシャンビューバスを備え、バスルームの窓を開けば、バスに身を沈めながら相模湾と静かに向き合う極上のひと時が叶う。右手に伊豆半島、左手に三浦半島、

葉山 ホテル 音羽ノ森

葉山の高台に位置し、相模湾を一望する全室オーシャンビュースイートのリゾートホテル。1987年の開業以来、湘南エリアを代表するクラシックホテルとして愛され、2023年11月に全館リニューアルオープン。全15室はいずれも広々としたスイートで、全室にビューバスを完備。フレンチと鉄板焼の2つのレストランでは、葉山牛や三浦野菜、相模湾の魚介を使ったコース料理を提供。ドッグフレンドリールームも1室用意する。

- ◎ 神奈川県横須賀市秋谷5596-1
- ☎ 046-857-0108
- 🅐 15台
- 🅑 2台
- 🌐 otowanomori.jp

エントランスに続くスロープが急斜面のため、運転に自信のない方や車高の低いお車の方はホテルにご連絡を。パレーサーサービスに対応いたします。



絶景と美食が織りなす 極上の滞在体験

チェックインを済ませたら、まずロビーラウンジのフリーフローサービスで一息つきたい。スパークリングワインを手に相模湾を眺めていると、日常の喧騒がゆっくりと遠ざかっていく。駐車場には充電設備も備わり、EVでのドライブ旅にも対応している。

客室はすべてオーシャンビュースイートで、最小でも44㎡という贅沢な広さを誇る。テラスに水盤を備えたルーフトップテラススイート、屋外プールを擁するデラックスプールスイート、バルコニーにジャグジーを設えたコーナージャグジースイートなど多彩なタイプが揃う。全室にオーシャンビューバスを備え、ゆったりとしたサイズのバスタブでリラックスしながら相模湾を一望する贅沢な入浴を堪能できる。

夕刻には、ロビーに隣接するインフィニティスパ「ブルー・ラグーン」へ。海へと続くように設えられた人工温泉に浸って、刻々と色を変える空と海を眺める時間は格別だ。

ディナーはオーシャンビューのレストランで、ソムリエが選ぶ極上ワインとともにコースに向き合う。食後はバーへ。丁寧に仕立てられたカクテルを片手にバーテンダーとの静かな会話を楽しみながら、満たされた時間がゆるやかに流れていく。

5. 134号線を走る高揚感が、旅の始まりを告げる。6. 船室をコンセプトにしたオーシャンビューのレストラン。夕陽が沈む時間にディナーを始めたい。7. 総料理長・田原英俊が手掛ける葉山牛の一皿。8. 葉山近辺の新鮮な食材を生かした調理法で自然の恵みを感じさせる鉄板焼。



1. 目の前に相模湾が広がる水盤テラスを備えたルーフトップテラススイート。2. アルフレックスの家具を取り入れたシンプルで上質な室内。3. 全室に備わるビューバス。窓を開け放てば半露天の爽快な入浴が叶う。4. 海へと続くように設えられたインフィニティスパ「ブルー・ラグーン」。

REBIRTHED BY THE SEA



7



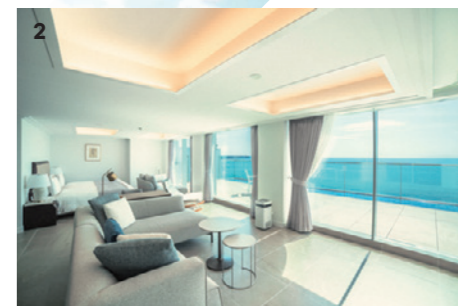
8



6



4



2



3



PORSCHE CAYENNE E-Hybrid

Carrara White Metallic

進化を重ねるポルシェが、葉山の格調と共鳴する

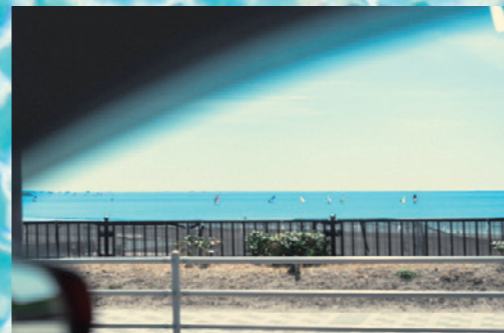
スポーツカーメーカーとしての哲学を堅持しながら電動化の新境地を切り拓くポルシェ。新型カイエン E-ハイブリッドは電動システムを刷新し、EV走行航続距離を従来の48kmから90kmへと拡大した。134号線をEVモードで静かに走れば、潮風と波音がキャビンに満ち、この地ならではのドライブの喜びをもたらす。ポルシェの姿勢は、伝統を守りつつ進化した葉山ホテル音羽ノ森と響き合う。ホテルの充電設備が、翌朝の旅への備えも万全にしてくれる。

LEXUS NX450h+

Radiant Red Contrast Layering

シームレスな走りで湘南の景色と溶け合うPHEV

湘南ドライブの相棒として、レクサス NX450h+はこれ以上ない選択だ。EV走行モードで走る134号線では、エンジン音を排した静寂のキャビンに波音と潮風だけが届き、相模湾の景色との一体感が増す。また、洗練されたSUVの佇まいは湘南の風景に美しく溶け合う。鎌倉市街でもモーターとエンジンを巧みに操りながらストレスなくこなし、古都から海へと変化する景色を、PHEVならではのシームレスな走りが優雅に繋ぐ。



事前に「TOUCH DRIVE MAP」をブックマークしてお出掛けください!

TOUCHの森

- 走った分だけ森になる -

参加方法はスポットでGPSスタンプを押すだけ!

TOUCHの森はお客様が走った分だけ、森が広がる植樹プログラムです。右のQRコードより「TOUCH DRIVE MAP」にアクセス。スポットに到着したらGPSスタンプを押すだけ。週末はぜひ特集のロードトリップをお楽しみください。





VACHERON CONSTANTIN

旅立ち は 壮大な歴史を 腕に

うらかな季節の訪れに気持ちはドライブに誘われる。それもカーナビに操られるのではなく、自分の意思で道を決め、移動そのものを楽しむグランドツーリングだ。ヴァシュロン・コンスタンタンのタイムピースはそんなときのおきの時をもちたしてくれる。

PHOTOGRAPHY Masahiro Okamura (CROSSOVER) STYLING Hidetoshi Nakato WORDS Mitsuru Shibata

旅は多くの知見を与え、精神の修養とともに人生の新たな扉を開く。17～19世紀初頭、英国の若き貴族たちが学業を修めた後、数ヶ月をかけてヨーロッパ大陸を旅したのもそのためだ。それはグランドツアーと呼ばれ、大人への通過儀礼になった。自動車愛好家にとってなじみの深いGT、グランドツーリング/グランドツーリスモの由来でもある。

旺盛な冒険心や好奇心とともに、多くの困難に耐え、目的を遂行する強い意志は、ヴァシュロン・コンスタンタンにも共通する。

1755年に創業し、昨年270周年を迎えたこのメゾンは、この間一度も途切れることなく時計製造を続けるジュネーブ最古のマンユファクチュール(自社一貫製造)として知られる。その揺らがぬ精神を表すのが「Do better if possible, and that is always possible (できる限り最善を尽くす、そう試みることは少なくとも可能である)」という言葉だ。

それは、1819年に創業3代目のジャック＝バルテルミー・ヴァシュロンに宛てた盟友フランソワ・コンスタンタンの書簡に記された。当時フランソワはヨーロッパ各地へ市場開拓の旅を続け、旅先から先の言葉を綴った。それは自身を鼓舞すると同時にジャックを勇気づけた。こうして二人の友情と絆はより深ま

り、やがてメゾン名になったのである。

そんな歴史に思いを巡らせるタイムピースが「コルヌ・ドゥ・ヴァッシュ1955」だ。これは、歴代の代表作から厳選し、そのヘリテージを蘇らせるヒストリックコレクションのひとつであり、オリジナルの「リファレンス 6087」は1955年に発表された。

メゾン初の防水性を備えたクロノグラフとして開発され、当時のスポーツ計測や自動車や航空関連の速度計測に活用された。視認性に優れたツーカーカウンタクロノグラフに、外周には速度計測用のタキメーターを備え、シンプルを極めた機能美はクラシカルなインストルメントパネルを思わせる。

端正なケースに設けた特徴的なラグはまるで牛の角を思わせる。そのフォルムから愛好家の間ではフランス語で「牛の角」を意味するニックネームが付けられ、複製したモデル名にもなったのだ。パティエヌ仕上げの美しいレザーストラップには、イタリアの高級レザーを採用する。

誕生から70年余を経たデザインは色褪せるどころか、より風格を増す。深まる優美な品格にヴィンテージの真価を実感するだろう。こんな魅力的な相棒を腕に着けたら、より遠くへどこまでだって走り続けられそうな気分になる。



コルヌ・ドゥ・ヴァッシュ1955

オリジナルデザインを忠実に再現しながら、ケース径を35mmから38.5mmに拡大し、30mの防水性能を備える。搭載するクロノグラフムーブメントは、手巻き式に比べ、操作性に優れたコラムホイールや水平クラッチの伝統的な仕様を崩さない。一方、性能では毎時1万8000振動から2万1600振動に高め、精度と信頼性を向上するとともに45時間の駆動時間を備える。シースルーバックの採用でその動作を見て楽しむこともできる。

SSケース、38.5mm径、手巻き、3気圧防水、
¥7,876,000(ヴァシュロン・コンスタンタン)

ヴァシュロン・コンスタンタン © 0120-63-1755



訪れる地へ敬意を払う端正なジャケットスタイル。(メンズ)カーキの濃淡で
 まとめ、サファリテイストを品よく昇華。ジャケット¥508,200 シャツ
 ¥104,500 パンツ¥106,700 スカーフ¥132,000 腰に巻いたニット
 ¥298,100 靴(参考商品)(すべてラルフ ローレン バーブル レーベル)
 (レディース)デニムとサンダルを合わせ、ネイビーレザーにほどよい抜け感
 を加味。ジャケット¥278,300 シャツ¥132,000 パンツ¥159,500
 靴¥207,900 バッグ¥526,900(すべてラルフ ローレン コレクション/
 ラルフ ローレン © 0120-3274-20) ハングル(スタイリスト私物)

The Style of Adventure

時代に呼応する冒険スタイル

海と名建築を舞台にした、最新の旅スタイル。
 潮の気配や光の移ろいを味方に、
 日常と非日常の境界を越えていく。
 冒険心がくすぐられる新たな装いに挑戦したい。



マクラーレンを駆り、海へ。マルチストライプにイエローを利かせたスタイルが
 非日常の高揚感を盛り上げる。ラムスキンを細長くカットし、張り合わせたア
 ウターは、優れたクラフト技術による賜物。アイコンバッグ「アマソナ180」が
 洗練のアクセントに。オーバーシャツ¥1,161,600 シャツ¥214,500 パ
 ンツ¥232,100 靴¥146,300 バッグ¥639,100(すべてロエベ/ロ
 エベ ジャパン クライアントサービス © 03-6215-6116)



ビビッドカラーを纏う、心躍るドレスアップスタイル。(メンズ)コットンにシルクをブレンドしたジャケットが華やか。ガーメントダイとウォッシュ加工による空気をはらむような質感が魅力。ジャケット ¥286,000 ニット ¥231,000 パンツ ¥170,500 (レディース)トップスはヌバック、スカートはハテントと異なる加工によるレザーを重ね、質感のコントラストで魅せる。ジャケットにはメタルの“ガンチーニ”のクローゼーが。ジャケット ¥902,000 スカート ¥484,000 靴 ¥154,000 バッグ ¥297,000 イヤリング ¥99,000 (すべてフェラガモ/フェラガモ・ジャパン © 0120-202-170)

Ferragamo

Jil Sander

街歩きにもふさわしい都会的なリラックススタイル。(メンズ)ソフトレザーのブルゾンにスニーカーを合わせ、軽やかに機動力を確保。ブルゾン [GINZA SIX限定] ¥767,800 Tシャツ ¥115,500 パンツ ¥231,000 靴 ¥148,500 (レディース)ピストライプのシャツとスカートセットアップで合わせれば、ワンピースのような華やかさ。彫刻的なフォルムのバッグ「カンノーロ」をアクセントに。シャツ ¥231,000 スカート ¥250,800 靴 ¥148,500 バッグ ¥250,800 スカーフ ¥42,900 ピアス ¥93,500 (すべてジル サンダー/ジルサンダー・ジャパン © 0120-998-519)



Brunello Cucinelli

光を味方に、ブラウンからベージュまでまとまりリゾートにも映えるカラーリング。
 (メンズ) アンコンストラクテッドのヘリンボーンスーツが柔らかさと洗練をもたらす。スーツ¥1,008,700 シャツ¥189,200 靴¥200,200 バッグ
 ¥768,900 チーフ¥48,400 ベルト¥147,400 サングラス
 ¥115,500 (レディース) 大胆にしてシックなブルームプリントが、旅時間を
 豊かに演出。ワンピース¥594,000 肩に掛けたニット¥449,900 靴
 ¥169,400 バッグ¥543,400 プレスレット¥502,700(すべてブルネロ
 クチネリ/ブルネロ クチネリ ジャパン © 03-5276-8300)



スポーティさとエレガンスが融合するブルゾンスタイル。シャツカラーや上質なレザーが
 控えめに品のよさを演出。ゆとりあるトラウザーを合わせることで流れるようなシルエット
 が引き立つ。背面のエンボスラベルがブランドの矜持を静かに物語る。ブルゾン
 ¥440,000 パンツ¥264,000 カーディガン¥381,700[参考色] ストール(参
 考商品)(すべてプリオニ/プリオニ クライアントサービス © 0120-200-185)



Brioni

ディフェンダーの迫力に負けない、イエローを利かせた印象的なトラベルスタイル。グレンチェック柄のカーコートはブランド初期のコートに着想を得たデザイン。コットンシルクのしなやかな生地が動きに沿い、ノンシランな趣を描く。スプリットラグランやホーンボタン、スエードのトリムなどのディテールが機能美を際立たせる。コート¥587,400 ニット¥231,000 パンツ¥91,300 靴¥133,100 バッグ¥553,300(すべてダニエル © 0800-000-0835) サングラス(スタイリスト私物)

PHOTOGRAPHY
Masafumi Tanida

STYLING
Kohei Kubo

HAIR & MAKE
Saori Hattori

EDIT & WORDS
Natsuko Otsuki

MODEL
KENJI, Akane Kunio (NUMBER EIGHT)

MCLAREN
Artura Spider (Ice White)

LAND ROVER
Defender Octa (Petra Copper)



The Row

名建築に似合う、上品でコージーな装い。〈メンズ〉カシミアとリネンをブレンドしたニットを重ねて。控えめなボリューム感で旅にも重宝し、季節を問わず活躍する。ニット¥371,800 肩に掛けたニット¥491,700 シャツ¥250,800 パンツ¥224,400 靴¥430,100 〈レディース〉通気性に優れた柔らかなスプリングカシミアのニットが心地よい。シルクナイロンのパラシュートパンツのようなボトムスがこなれ感をもたらす。ニット¥259,600 中に着たニット¥136,400 パンツ¥293,700 靴¥198,000(すべてザ・ロウ/ザ・ロウ・ジャパン © 03-4400-2656)



唯一無二の名建築に泊まるこのうえない贅沢な時間

葉山加地邸

今号のファッションストーリーの舞台となった「加地邸」は、1928年、当時の三井物産ロンドン支店長の加地利夫のために、フランク・ロイド・ライトの愛弟子であった建築家・遠藤新が手掛けたプレーリースタイルの邸宅。大谷石の巨大な柱が支える建築は、一望する葉山の水平線に呼応するかのよう、堂々とまっすぐに伸び広がる軒と、歳月を経て青緑色に変化した銅板屋根を備え、幾何学的な装飾美を纏う姿は「小さな帝国ホテル」とも称される。吹き抜けの居間を中心に異なる床高がまるで棚田のように連なる各居室は、自然、人間、

建築、空間すべてが一体となって調和・完成することを目指した。邸宅内の建具や家具にはハチの巣や雪の結晶など、自然の造形をとらえた六角形をモチーフにした装飾やデザインを細部にまで見ることができる。

「加地邸」という偉大な建築が現存するのも奇跡ではあるが、現オーナー(自動車愛好家!)が、このレガシーを次の100年に残していくために、2020年に一棟貸しの泊まれる国の登録有形文化財としてリニューアル。これまでの100年、これからの100年、歴史の波間を愉しんでみるのも一考だろう。

© 神奈川県三浦郡葉山町一色1706 一棟貸し(3寝室) 1泊¥382,200~(店員6名) kachitei.link



Fujitaka

上質なイタリアンレザーによるマットな光沢を湛える、落ち着いたブルーが印象的なポストンバッグ。コンパクトな佇まいながら容量に優れ、両サイドのジップポケットが使い勝手を高める。付属ストラップで携行の幅も広がり、洗練された移動を支える。バッグ(H26×W47×D20cm)¥94,600(フジタカ/フジタカトーキョー ©03-3861-6276)



Montblanc

前面が大きく開き、パーソナルデスクのような驚きの仕様。樹皮を思わせるテクスチャーのレザーが魅力。プリーフケース(H30×W36×D10cm)¥481,800 万年筆[左・中・右]各¥145,200 ノート¥14,850 時計¥661,100 カードホルダー¥61,600 万年筆[右下]¥135,300(すべてモンブラン/モンブランお客様サポート ©0800-333-0102)



Hunting World

自然との調和を象徴する六角形=ハニカムが際立つデザイン。軽量のポリカーボネイトのボディに加え大径ホイールが安定した走行性をもたらす。都市からアウトドアまで対応し、未知への一歩を後押しする設計。スーツケース(H54×W36×D25cm)¥132,000(ハンティングワールド/ハンティングワールド帝国ホテル店 ©03-3501-7080)



Tumi

ボトム部分に拡張機能を備え、最大で54センチまで拡張する設計。耐久性の高い素材と再生由来の内装を組み合わせ、収納力と環境配慮を両立する。独立したPCスペースや多彩なポケットが整理を促し、機動的な日常を支える。バックパック(H47.5×W38×D23cm)¥138,600(トゥミ/トゥミ・カスタマーセンター ©0120-006-267)



Globe-Trotter

鮮やかなオレンジとブラウンの組み合わせが目目を引く。軽量で堅牢な独自素材ヴァルカン・ファイバーにレザーを組み合わせ、クラシックな趣を保ちながら実用性を高めている。4輪ホイールと内蔵トrolleyで操作性も良好。キャリーオン(H56×W42×D21cm)¥374,000(グローブ・トロッター/グローブ・トロッター銀座 ©03-6161-1897)



FPM Milano

ヴィンテージトランクの趣を現代的に昇華したスーツケース。アルミニウムシェルと独自のバタフライロックによりさまざまな環境に対する保護と耐性が保証される。しなやかなハンドルと滑らかな走行性が移動を快適に導く設計。スーツケース(H55×W40×D24.5cm)¥332,200(FPM Milano/FPM Milano 表参道店 ©03-6804-3716)

Modern Luggage

機能と遊び心を携えた最新のトラベルバッグ

移動そのものを豊かに変えるトラベルバッグ。都市から自然へとシームレスに寄り添う、機能性と美しさに満ちた最新作をピックアップ。

PHOTOGRAPHY Masafumi Tanida (P56), Osami Watanabe (P57) STYLING Kohei Kubo

HAIR & MAKE Saori Hattori EDIT & WORDS Natsuko Otsuki MODEL KENJI



Bottega Veneta

ブランドのシグネチャーであるイントレチャート技法によるスーツケース。特別に成型された高い耐久性のABSシェルを、しなやかなナイビーのカーフレザーで包み込んだ。軽快なブルゾンスタイルとともに、さり気なく上質を演出する。スーツケース(H55×W35×D21cm)¥1,386,000 ブルゾン¥260,700 パンツ¥190,300 靴¥220,000 ニット(参考商品)(すべてボッテガ・ヴェネタ/ボッテガ・ヴェネタジャパン ©0120-60-1966)

ビジネスのカジュアル化が進み、キャンバスやナイロンのバッグを合わせた軽快な装いが広がっている。緊張感や品位がどこか薄れつつある空気感のなかで、重みと節度をもたらす存在としてレザーの価値が見直されている。

そうした潮流に呼応するかのよう、ダンヒルのクリエイティブ・ディレクター、サイモン・ホロウェイはアパレルに注いだ美意識を背景に、この春夏シーズンより本格的にレザーグッズのクリエイションへと着手。車にまつわるライフスタイルをトータルで提案する「ダンヒル・モーターティーズ」に端を発する出自を礎に、創業から130年以上受け継がれてきたレザーを現代的に編み直した新作のレザーグッズがラインナップされた。パティナーカーフをはじめめとする上質な素材は、使うほどに風合いを増し、自分仕様へと表情を変えていく。ライターやステアリング由来する作り込まれたディテールが、長い歳月に裏打ちされた美学をさりげなく語る。トートバッグやブリーフケースはすっきりとした構築美と洗練された金具使いで統一され、用途に応じたサイズ展開も魅力。職人の手作業による豊かな色彩は一点ごとに個性を際立たせ、唯一無二の存在感を生み出す。丹念な物づくりが、レザーという素材の奥深い魅力を改めて教えてくれる。

DUNHILL

130年の記憶を宿す レザーの品格

ダンヒルには、気品を堪えたレザーグッズが充実のラインナップで揃う。歴史と美意識を礎に、現代的に再解釈された新作のバッグたちに注目したい。

PHOTOGRAPHY Kevin Chan STYLING Kohei Kubo EDIT & WORDS Natsuko Otsuki



Century

Alfred



バッグのセンターに輝く アイコン的な意匠

3サイズ・3色で展開するブリーフケース「アルフレッド」。手染めによる豊かな色彩が際立ち、1924年誕生のライターを想起させる留め具が象徴的なアクセントとなっている。ダブルガゼット構造で高い収納力を備え、フラップやマグネット開閉で使い勝手も良好。ショルダーストラップ付きで携行性にも優れる。左から〈H28×W40×D13cm〉¥654,500 〈H23×W30.5×D11cm〉¥587,400 〈H19.5×W25×D9.5cm〉¥485,100(すべてダンヒル)

コントラストも魅力。 財布類も充実のラインナップ

ナチュラルレザーにパティナー加工を施し、深みある色彩と一点ごとの個性を実現。ヴィンテージ調のパラジウム金具にはリード模様と控えめなADロゴを配し、アーモンド型のタブが優美な印象を添える。表と内側の色を変えており、黒の長財布の内側はブラウン、ブラウンの財布の内側はネイビー、ダークブラウンのカードケースの内側はグリーンになっている。長財布¥149,600 二つ折り財布¥116,600 カードケース¥79,200(すべてダンヒル)

ダンヒル

☎ 0800-000-0835 🌐 dunhill.com/jp

縦長フォルムのトートに付く葦模様を施したメタル製ローラータグ。引き出して連絡先を記せる実用性を備えつつ、ライターの意匠を想起させる遊び心でブランドの系譜をさりげなく伝える。



車のステアリングのように手縫いステッチを施したハンドルは握りやすく、確かなフィット感を実現。内装はコントラストの効いたライニングで視認性に優れ、着脱可能なフォルダも備える。



品格と実用性が共存する コンテンポラリーな相棒

ビジネスからカジュアルまで用途を問わず活躍する、洗練されたトートバッグ「センチュリー」。最高級のカーフスキンを使用し、コバを手塗りするなど高度な職人技が随所に冴えわたる。使い込むほどに味が増し、ストラップでバッグの形状を調整することも可能。〈上〉バッグ(H42×W38×D12.5cm)¥553,300 サングラスケース¥100,100 〈下〉バッグ(H33×W61×D22cm)¥687,500 傘¥283,800 チャーム¥66,000(すべてダンヒル)

AOURE

虜になる 極上のはき心地で 快適にドライビング

2022年にデビューして以来、
感度の高い大人に支持されているアウール。
ブランドの代名詞にもなっている
「マルペンサ」シリーズのパンツは、
ドライビングにも最適な魅力が詰まっている。

PHOTOGRAPHY
Kevin Chan
WORDS
Kyoko Chikama
STYLING
Hidetoshi Nakato

表情豊かなビンヘッドに加えて、さまざまな素材でラインナップ。いずれも同素材のジャケットも展開しているため、セットアップでの着用も可能だ。こちらは膝下も細身に仕上げているが、スポーツで鍛えた脚にも対応するようにふくらはぎ部分をやや太めに設定したEXモデルも用意している。¥22,000 (アウール)

快適なのになきちんと見え。

オン・オフともに活躍するパンツの理想形

最近ではあらゆる面において快適性が求められる傾向だが、果たしてそれだけでいいのだろうか。たとえば、休日のドライブに合わせるボトムス。仕事ではないので快適に振り切っても問題ないが、目的地を散策することも考えると、ある程度のきちんと感も必要だ。アウールの「マルペンサ」シリーズのパンツは、ドライビングパンツに求められる快適性ときちんと感を見事に両立している。

ミラノの空港名に由来する「マルペンサ」は、長時間のビジネスストリップをこなすジェットセッターをイメージした人気シリーズだ。特筆すべきは、全方向に伸縮する抜群のストレッチ性。なめらかな肌触りや上品な光沢感も併せもち、それでいて自宅で洗濯できるのも嬉

しい。シワになりにくく、細身の美脚シルエットとラインが消えないステッチ入りクリースのおかげで、長時間のドライビング後もきちんと感をキープできる。タックインが様になる両サイドのシャーリングや、ベルトと干渉しないように内側にも隠せるスピンドル仕様、さらには視覚的に脚長効果を狙った高めのヒップポケットなど、細部にもこだわりが満載。

この手のパンツは世に溢れているが、シルエットの美しさもはき心地のよさもマルペンサは別格。オン・オフに対応するだけでなく、つい手に取りたくなるほどスタイリングもしやすい、まさに理想的なドライビングパンツといえるだろう。あまりの優秀さに、色違いや素材違いで揃えたいこと請け合いだ。



左からダークブルー、グレー、ライトグレー

(SHOP) アウール 阪急メンズ東京 アウール 大丸東京 アウール 新宿高島屋
☎ 03-6252-5480 ☎ 050-1782-8428 リミテッドコンセプトストア (8月下旬まで) ☎ 03-5361-1111

その他店舗一覧はこちら



	ディフェンダー(S)	OCTA
エンジン	ディーゼルマイルドハイブリッド	ガソリンV8マイルドハイブリッド
0-100km/h 加速	6.4秒	4.0秒
総排気量	2,993cc	4,394cc
最高出力	258kW/350PS/4,000rpm	467kW/635PS/6,000-7,000rpm
最大トルク	700Nm/1,500-3000rpm	750Nm/1,800-5,855rpm
車両重量	2,430kg	2,510kg
全高	1,970mm	2,000mm
全長	4,945mm	4,940mm
全幅	1,995mm	2,065mm
ホイール	19インチ	22インチ

標準モデルであるSとOCTAを比較すると、インテリアや快適装備だけでなく、走行性能、特にエンジンバックに関して大きな差があることが分かる。

LAND ROVER

息をのむ景色へ 大胆不敵に進め

圧倒的なオフロード性能と高級車のラグジュアリーさ。
そんなランドローバーの哲学をより表現した
特別なディフェンダー、それが「OCTA」である。

WORDS Taichi Fujino



DEFENDER OCTA

「OCTA」の名は、地球上で最も硬く、魅力的な鉱石である8面体(octahedron)形状のダイヤモンドからインスパイアされたもの。屈強さを感じさせるエクステリアでは、バンパーを再設計し、アプローチ&デパーチャーアングルを拡大。悪路走破性を高め、渡河水深は最大1mにまで達している。足回りには、ピッチ&ロールを抑制する「6Dダイナミクス」サスペンションに代わって、シャシーコンポーネントを大幅に改良。さらにオフロード走行時の性能を最大化する「OCTAモード」を搭載。専用のアンチロックブレーキやローンチコントロールを装備し、悪路であっても姿勢変化が少なく安定して、ハイスピードで走行することができる。

そして4.4リッターV8ツインターボエンジン(MHEV)は、最高出力635PS、最大トルク750Nmを発揮し、0-100km/h加速は4秒とスポーツカー顔負けの性能を誇る。

ダイナミック性能に特化したモデルなのかといえば、そうではない。セミアニリンレザーと上質なテキスタイルトリムを組み合わせたインテリアには、没入型の音楽体験が楽しめる「ボ

ディ&ソウルシート」を採用。乗員は音楽の振動を体感しながら、6種類のウェルネスプログラムも利用可能となっており、レンジローバーもかかやのラグジュアリー&コンフォート性能を備えている。OCTAとは、ディフェンダー史上最もタフで、ラグジュアリーで、オンロードでもオフロードでも究極のパフォーマンスを発揮する万能のヒーローモデルなのだ。

ランドローバー 日比谷

◎ 千代田区有楽町1-5-2東宝
日比谷プロムナードビル1F
☎ 03-3528-8666
🕒 10:00~18:00



22インチホイール / セミアニリンレザーシート



ワイドトレッド

22インチの「スタイル7026」アルミホイールを標準装備。オフロードに最適化されたフロントボディワークを補完するべくホイールアーチも大型化。トレッドはフロント1700mm、リア1760mmと、ベースモデルに比べてスタンスは68mmワイドになっている。インテリアは、セミアニリンレザーと、Kvadrat™ テキスタイルトリムの組み合わせを標準装備。



Wheel

フックスデザインのスポートクラシックホイールには、新色のグレーゴールドカラー「Bronzite」を採用。ボディ色の「オリブネオ」は1970年代のエネルギッシュなエッセンス、サイケデリックな感覚、そして現代の美意識を融合させて生まれたカラーであり、そこにアクセントとしてわずかにゴールドを帯びた「Bronzite」が加わることで全体を調和させている。



Seat

シートをはじめインテリアのファブリックには、ブラック／オリブネオの伝説的なパシャ柄を採用。さまざまなサイズの長方形を巧みに配置することで、はたたくチェッカーフラッグを連想させる。従来のジャカードベロアの代わりに、フロック糸を使用したテキスタイルを組み合わせたことで肌触りが改善され、特に長時間の移動において快適性が向上している。

Porsche 911 Spirit 70

911GTSカブリオレをベースに1970年代から1980年代初頭のエッセンスを体現した世界で1500台限定のモデル「911スピリット70」。専用のオリブネオカラーで、歴史にインスパイアされたグラフィックを配置する。



PORSCHE

世界に一台は、誰もがチャレンジできる

オーダーメイドシステムは現在多くの高級ブランドに取り入れられている。ポルシェもまた「Paint to Sample」というシステムを生み出し、多くのクルマ好きの願望を満たす環境を整えている。

WORDS Taichi Fujino



メーターの文字色まで カスタマイゼーション! 世界に一台の愛車。

とあるスーパーカー世代のオーナーが、Exclusive Manufakturプログラムを使って、かつて憧れた1960～70年代のエッセンスを取り入れたのがこちらの911 Turbo S。ボディカラーは、PTSにより6月の満月、ストロベリームーンを彷彿とさせる神秘的な「Moongem(ムーンジェム)」に。インテリアはコニャックカラーのレザーと、ペビータ(千鳥格子)柄を組み合わせ、ヘッドレストにはポルシェのクレストのエンボス加工を施した「ヘリテージデザインパッケージクラシック」を選択。このパッケージの特筆すべき点は、メーターの文字色にまでカスタマイズが施されていること。グリーンレターは、356から1970年代初頭のポルシェモデルに使われていたもので、そのDNAを受け継ぐ、まさにオーナーの夢を具現化した仕様だ。



1.ピンクがかったホワイトトーンのボディカラーはPTSの「Moongem(ムーンジェム)」。2.インテリアはコニャックカラーのレザーとペビータ(千鳥格子)柄の組み合わせ。3.メーターは356をオマージュしたものだ。

Reimagine myself!

耐久テストまで行われる
ワンオフカラーという贅沢

世界に一台の、自分だけのポルシェをつくりたい。そういった顧客のニーズに答えるべくポルシェはカスタマイズにおいても長い歴史をもつ。1978年には「Sonderwunsch(スベッシュェルリクエスト)」部門が正式に発足し、特別な改良などを行うプロジェクトがスタート。その端緒となっていたのは、356の設計者であるフェリー・ポルシェの「私は自らが理想とする車を探したが、どこにも見つからなかった。だから、自分でつくることにした」という言葉である。以来、ポルシェは究極のカスタマイズを追求してきた。現在、ツッフェンハウゼンの本社工場内にはカスタマイズ部門「Exclusive Manufaktur(エクスクルーシブ・マニファクチャー)」がある。ここでは内外装に多彩なオプションを設定。レザーやウッド、カーボンなどの高品質な素材を用い、熟練の職人による手作業によってオーナーの理想を具現化する。

中でも、自分の個性を強く反映することができるアイテムのひとつが「ボディカラー」だ。ポルシェはそもそも標準設定の色数が豊富である。2024年1月にすべてのモデルシリーズのカラースキームを改訂して、標準(一部有償オプションを含む)で選べるボディカラーを「コントラスト」「シェード」「ドリームズ」「レジェンズ」の4つのカテゴリーに一新。たとえば911カレラでは17色、タイカンでは18色(2026年3月末現在)ある。しかし、それでも自分のイメージに合ったものがない場合には、「Paint to Sample(ペイントトゥサンプル)」、略称PTSというプログラムがある。これはポルシェが提示する外装色サンプルから選ぶもので、現在の色数はトータルで220を超えている。たとえば、911とタイカンにはそれぞれ137色が設定されており、カーコンフィギュレーター上で確認できる。

もしもPTSにも理想の色が見つからない場合には、独自のオリジナルカラーをつくる「Paint to Sample Plus(PTS Plus)」というプログラムが用意されている。オーナーはそれが紙の切れ端であれ、ネイルカラーであれ、自分の理想のカラーサンプルを用意する必要があるが、職人はその色を再現するだけでなく、風雨、日照、衝撃などさまざまな環境下における耐久テストを繰り返し、合格してはじめてボディカラーとして採用することができる。そのため、開発期間は数年に及ぶこともあるというから、オーダーするにはそれなりの覚悟が必要だが、望めば究極の一台が手に入るのだ。



日本の美意識を宿す 異なるマテリアルの妙

SILVER JEWELRY

シルバー950をベースに、日本の伝統素材、黒皮革を配したジュエリー。異なる素材のコントラストが、光と影、静と動の“あわい”をさりげなく描き出す。使い込むほどにシルバーは風合いを深め、黒皮革も独自の表情に育まれていくという経年変化も魅力だ。すべて日本の職人の手による丁寧な作りに。〈左から〉スクエアプレートペンダント¥41,800、バラレルラインワイドバングル¥154,000、トグルクラスププレスレット¥99,000、シグネットスクエアリング¥41,800、シグネットスプリットリング¥41,800(すべてタイムスケープ)

上質なレザーが表現する 静寂の庭園風景

枯山水の白砂に刻まれた波紋模様に着想を得たデザイン。上質なシュリンクレザーを用い、細やかなシボを自然のリズムとして表現する。裏面には人工スエードを総張りし、しなやかさと構造の安定感を両立。ゴールドのメタルパーツが穏やかな革の表情に緊張感を添える。ハンドルやストラップの長さがアレンジでき、男女問わず使用可能。〈左〉ナチュラルシュリンクレザー2WAYボディバッグ(H30×D19×W10cm)¥77,000 〈右〉ナチュラルシュリンクレザーショルダーバッグ(H16×W33×D10cm)¥71,500(ともにタイム)

SHRINK LEATHER BAG



さりげなく息づく 日本ならではの匠の技

CARD CASE & WALLET

“革を重ねる、技術を重ねる”をテーマにデザインされた革小物。日本ならではのこだわりの物づくりを形にするべく、100年以上の歴史をもつ革小物専門工房が漉き、貼り、磨きを熟練の手仕事で仕立てる。薄く漉いた皮革を繊維の方向を変えて貼り合わせることで、軽やかさと堅牢さを両立。丁寧なコバ磨きが滑らかな光沢を添える。どれも胸ポケットに収まるミニマルな設計。〈左から〉スマートオーガナイザー ¥37,400、バイフォールドウォレット¥41,800、カードケース¥33,000、ロングウォレット¥59,400(すべてタイム)

THYME

完成度の高さを体現する ジャパンメイドの矜持

日本の美意識とクラフツマンシップを背景に今シーズンより誕生したブランド「タイム」。バッグや革小物、ジュエリーに宿る端正な造形が、クワイエットラグジュアリーの趣を際立たせる。

PHOTOGRAPHY Masafumi Tanida (P64), Osami Watanabe (P65) STYLING Kohei Kubo EDIT & WORDS Natsuko Otsuki



ポリゴン状の直線的フォルムが印象的なバッグ。革の表情差を活かして額縁のように配し、内側に折り込んだマチで立体感を生む“捨てマチ構造”を採用。ミニマルな輪郭が唯一無二の凛とした雰囲気醸し出す。〈左〉ポリゴントートバッグ(H32×W27×D11cm)¥93,500 〈中〉ポリゴンワンハンドルバッグ(H25×W21×D8cm)¥82,500 〈右〉ポリゴンショルダー/ハンド2WAYバッグ(H19.5×W19×D5.5cm)¥71,500(すべてタイム)

さらに注目したいのが「タイムスケープ」と名付けられたジュエリーライン。シルバーに高級皮革、黒皮革を組み合わせた独創的なデザインで揃う。光を受けて表情を変える金属の輝きと重厚で奥行きのある革の質感が響き合い、静と動のコントラストを描き出す。日本の素材と技術、そして美意識が織り成す、静謐でありながら力強い存在感がここにある。

素材には国内原皮、国内なめしのレザーをはじめ、地球環境に配慮したLWG認証革などを積極的に採用。日本ならではの高度な技術や繊細なディテールを随所に落とし込み、素材の魅力を引き出す丁寧な仕立てによってプロダクトに品格をもたらす。時代や流行に左右されないタイムレスな美しさも、このブランドを語るうえで欠かせない。

2026年春夏シーズンより展開開始となる新ブランド「タイム」。端正なレザーバッグを核に、革小物やシルバージュエリーなどを展開する。ユニセックスで楽しめるアイテムは日本古来の美意識や禅の精神に根差した、余白と、本質、がコンセプト。削ぎ落とされたフォルムと緻密なディテールが共存するデザインは、日常の装いに凛とした存在感を添える。どれも声高に主張するわけではないものの、確かな軸をもって大人の男女の装いに溶け込む。

意思ある大人に似合う
日本発の新生ブランド



LEXUS

電気をコントロールする 新しいドライブプレジャー

広い室内空間をもちながらもスポーツカーのように走れるSUV、RZ。最大の特徴はBEVでありながらも躍動感が味わえる「走り」にある。そしてマイナーチェンジにより、その特徴はさらに進化し、より顕著となった。



WORDS Taichi Fujino

01 給電

様々な用途で使える給電システムを備えるRZ。消費電力の合計が1500W以下の電気製品が使用できるよう、センターコンソールやラゲージルームにAC100Vのアクセサリコンセントを装備。緊急時はもちろんのこと、キャンプ場では音楽やゲーム、お湯を沸かしてコーヒーを楽しんだり、ライフスタイルをより充実させるパートナーとしても活躍してくれる。

BEVの強みを活かした大幅なアップデート

レクサス初のBEV専用モデル「RZ」にマイナーチェンジが実施された。エクステリアには大きなデザイン変更はないが、その中身は全面刷新といえる進化を遂げている。まずBEVシステムを改良し、レクサス初となる「ステアバイワイヤシステム」と「インタラクティブマニュアルドライブ」を新規設定した。

前者は走行状態に応じてステアリングギア比を最適化するもので、低速域ではステアリングをぐるぐるまわす必要はなく、ワインディングでは軽快かつ俊敏な、高速域では安定した操舵フィールが味わえる。後者は、本来的にはBEVには必要のないトランスミッションの感覚をソフトウェアをベースに駆動力を制御することで、シフトショックやサウンドなどを再現し、走る楽しさやクルマとの対話ができる体験価値を実現したものだ。

単に電気でもーターを駆動して走行するというだけでなく、車両のすべてを統合制御するという意味において新型「RZ」はBEVのひとつの理想形に近づいたモデルといえる。

LEXUS RZ

2025年12月末、マイナーチェンジが行われたRZ。全グレードでモーターの高出力化や航続距離の伸長、充電所要時間の短縮を実現。そして運転する楽しさを追求した「F SPORT」もラインアップに追加された。

レクサス小石川

◎ 東京都文京区小日向4-1-1
☎ 03-3813-3331
🕒 9:30-18:00 火曜定休



02 ステアバイワイヤ

従来のようにステアリングとタイヤを物理的に繋げて車両を操作するのではなく、電気信号を介して操舵情報や路面情報のやりとりを行うのが、レクサスとして初採用となるステアバイワイヤ。これにより、ダイレクトかつ繊細な操舵感が味わえ、航空機の操縦桿のようなステアリングを操ることでドライバーの意思がより忠実にクルマの挙動に反映される。



03 新BEVシステム

モーター出力の向上、充電時間の短縮が行われ、1回の満充電で走行できる一充電走行距離も582~733km(WLTCモード)に伸長と、日常での使い勝手が大幅に向上したBEVシステム。また、BEV専用プラットフォームの高剛性化や四輪駆動システム「DIRECT4」の制御を最適化するなど、操縦安定性やトラクション性能も大幅に高められている。

テックビギナーのための
技術解説

TOUCH
the
TECH

EV時代の タイヤ開発の面白さ

EVで広がるタイヤ開発の領域

皆さんは、世の中にEV用タイヤなるものが存在しているをご存知だろうか。

バッテリーに充電した電力で走行する電気自動車＝EVも、エンジンを積んだ自動車と同じ仲間であることには変わらない。だとすれば、通常の量産車用タイヤ、もしくはスポーツカー用タイヤでもなに不自由なく使えるのが自然だろう。しかし、現実にはEV特有の特性に対応するため、もしくはEVの良さをより際立たせることを目的としたEV用タイヤが数多くリリースされている。

なかでも、2019年というごく早い段階で電動車用タイヤ技術「ELECT(エレクト)」を発表したのがピレリだった。そのほかにもミシュラン、ブリヂストン、ダンロップ、グッドイヤー、コンチネンタルなどの主要メーカーがEV用タイヤを製品化しているが、それらの特長はおおむね共通している。

第1は転がり抵抗が小さいこと。転がり抵抗が小さければ、EVにとってもっとも重要な性能のひとつである航続距離を拡大できるので、EV用タイヤにとっては欠かせない特性といえる。

ロードノイズが小さいことも重要な性能のひとつ。エンジンを積んでいないEVは車内の騒音レベルが全般的に低いため、風切り音やタイヤが発するノイズがかえって目立つ傾向にある。そこでEV用タイヤではロードノイズの低減に取り組むことが一般的となっている。

巨大なバッテリーを搭載するEVの多くは車重が2トンを超え、モデルによっては3トンに迫るケースもある。また、極低回転で最大トルクを発生するモーターの特性上、発進加速時には一般的なエンジンを上回る負荷がタイヤにのしかかる。このため、EV用タイヤでは耐荷重性能や耐摩耗性能が重視されるのも特長のひとつだ。

今後のEV用タイヤは、粉じんの発生量を抑えるほか、持続可能な社会を実現するため、循環型の天然素材を採用するなど優れたリサイクル性などが求められることになるだろう。

WORDS Tatsuya Otani



ボルシェ タイカン は主にピレリのP ZERO R ELECTや、ミシュランのPilot Sport EVなどを、レクサス RZは主にダンロップのSP SPORT MAXX 060+などを標準タイヤとして採用。近年は写真のPilot Sport EVのように、BEVとスポーツハイブリッド向けを兼ねた製品も増えている。



LA PRAIRIE

ラ・プリー

まるで現代の錬金術。スイス発、
先鋭細胞科学を贅沢にまとう

1931年、レマン湖畔のクリニックを起源とするラ・プリー。医療を提供し続け、1971年にはスキンケア製品を完成。キャビアやゴールド、プラチナなどの希少な素材を駆使、各界のセレブリティをも虜に。ブランドの真髄を軽やかに堪能するなら、キャビア成分豊富な3点。ハリ不足の目元にみずみずしいジェルエッセンス1。オイル成分配合のミストローション2で手軽にエイジングケア。ジムのお供にも。シルキーな乳液3を重ねれば、清潔感あふれるハリ肌へ。



美容医療はリサルーベポン?
パワフルな治療も毎日のケア次第

シミ・シワのレーザー治療やたるみ治療。近年、男性にも人気の美容医療をエイジング対策の切り札と考える向きもあるようだが、じつは肌の水分量やダメージの蓄積など、元の肌状態によって「治療成績が変わってしまう」ことはあまり知られていない。365日朝晩2回のスキンケアで、肌の土台を整えておくことが治療の効果を最大化させる鍵と覚えておこう。

ラ・プリー

- 1.SC アイエッセンス N 15ml ¥24,420
- 2.SC ミスト 50ml ¥26,620
- 3.SC ハイドロ エマルジョン 30ml ¥26,620
(ラ・プリー ☎ 0120-223-887)

ルックスも効果もジェンダー
インクルーシブが標準仕様

現代人の肌ニーズを追求した機能と使用感、黒で統一したミニマムなデザイン。男女を問わず愛される通称“黒KANEBO”から、ベタつきと乾燥、相反する肌悩みに応えるコンビが話題。悪玉化する皮脂をトラップし、みずみずしく満たす化粧水1に、肌にすっと消え入るような新感覚のクリーム2を重ねれば、表面はさらりと快適。夏に負けない理想の潤いが完成する。仕上げは、水のように心地いいミスト状UV3を顔・頭皮・髪、体にシュッとひとふき。これで肌の夏バテを回避!



KANEBO

カネボウ

進歩するコスメは誰のため?
気になるアイテムは即トライ

ひげの有無や皮脂量など男女の肌には違いはあれど、その構造や加齢変化といった基本のメカニズムは変わらない。現下のコスメ市場は多くの点において“女性寄り”だが、近年の化粧品は種類も豊富、進化も著しい。女性だけに独占させるのはもったいない話だ。パートナーと共有するシェアコスメも話題。心のままに試してみたい。

KANEBO

- 1.カネボウ スキン ハーモナイザー 180ml ¥5,500
- 2.カネボウ スキン コンダクター 60g ¥6,600
- 3.カネボウ チアリング ミスト UV SPF50+ PA++++ 30ml ¥3,300
(カネボウインターナショナルDiv. ☎ 0120-518-520)

Turn the Corner

夏への曲がり角 理想の肌の整え方

予報によると、今夏も酷暑。ジリジリと照りつける太陽にアスファルトも溶けそうな夏は、“肌の曲がり角”といわれることも。乾きを癒やし、日差しから守り、肌をストレスフリーに整えて、オンもオフも理想のパフォーマンスを。

PHOTOGRAPHY Hiroki Watanabe | WORDS Yuko Sano

資生堂100年の男性肌研究
男性特有のエイジングに光明

SHISEIDO MEN

シセイドウメン



日々のメンテナンスで
今日と未来のQOLを向上

近年、男性アスリートのスキンケアがたびたび話題になり、肌コンディションがパフォーマンスや疲労回復を左右することが知られるように。また見た目が若々しい人のほうが健康かつ長寿との研究報告もあり、肌のメンテナンスは、よりよく生きるための賢明なアクションといえそう。

季節は夏。肌には強烈な紫外線が降り注ぎ、日焼けや乾燥のみならず、肌の内部までダメージを与え、シミやシワ、たるみのリスクが増加。室内と屋外の温湿度差や大量発汗などのストレスもあり、1年でもっとも肌に過酷。一方、日進月歩の皮膚科学研究により「肌老化は遺伝要因ではなく、後天的、すなわち環境要因が8割」とわかってきた。つまり、きちんとケアさえすれば、夏の“肌の曲がり角”を回避できるということ。長年肌に向き合ってきたスキンケアアイテムをパートナーに、夏のアクティビティを満喫したい。

男性肌のシワの出現は、女性より10年早いという事実。もともと肌の違いに、スキンケア習慣の違いが重なり、エイジングサインが早く表れるという。驚きの数字だが、男性の肌の特徴にあったスキンケアでリカバー可能だ。まずは洗顔1で素肌をリセット。わずか3秒で肌になじむ化粧水2で水分補給したら、乾燥やざらつき、透明感やハリをなさいといったエイジングサインに立ち向かう美容液3。肌を引き締め、なめらかに。朝はスティック状の日焼け止め4で紫外線予防ケアを。ゴルフやドライブでは年齢の出やすい手の甲にも。

スキンケアを「効かせる」ために
使用量と使用法を遵守すべし

たとえば、日焼け止め。使用量が少なかったり、塗りムラがあれば紫外線カット効果も不十分に。汗や摩擦で落ちたら塗り直す必要もある。化粧品には、役割を果たすための使用量と使用法が存在する。外箱などに記載された指示通りに使ってはじめて効果が出ると心得よう。

シセイドウメン

- 1.フェイス クレンザー 130g ¥3,300
- 2.ハイドレーティング ローション C 150ml ¥4,400
- 3.アルティミュン™ バワライジング セラム 50ml ¥15,180
- 4.クリアスティックUVプロテクター SPF50+ PA++++ UV耐水性★★ 20g ¥4,180 (SHISEIDOお客様窓口 ☎ 0120-587-289)

効果の裏に圧倒的サイエンス

肌の土台、コラーゲンを育む

富士フィルムがスキンケア!? と話題をさらったのは2007年。写真分野で培った技術を応用したスキンケア理論は説得力にあふれ、効果実感と使用感にこだわるラインナップでファンを拡大。なかでも、フィルム原料であり、肌の土台でもあるコラーゲン研究は圧巻。“肌になりすますゼリー”で知られる美容液1は、洗顔後すぐに使用。抗酸化作用でコラーゲンを守り、加齢で減少するセラミドを補給する。たっぷり潤す化粧水2、軽やかな乳液3を重ねてトラブル知らずの肌へ。



ASTALIFT MEN

アスタリフトメン

成分、理論、ルーツ。自分なりのこだわりを探すのも美容の楽しみ

近年の化粧品開発は、ガチのサイエンスであることをご存じだろうか。深化する皮膚科学研究はもとより、ロンジェビティなどの生命科学研究、成分開発に製剤技術、画像解析など21世紀の最先端を詰め込むものが目白押し。しかもそれらが切磋琢磨するのだから面白い。背景にある“物語”から肌を託す一品を探すのもおすすめだ。

アスタリフトメン

- 1.ゼリーアクアリスタ 60g ¥13,200
- 2.モイストローション 120ml ¥3,850
- 3.モイストエマルジョン 80ml ¥4,290 (富士フィルム © 0120-596-221)

SUMMER ESSENTIALS, UV PROTECTION

THE GINZA

ザ・ギンザ



1

LA MER

ラ・メール



2

FAS

ファス



3

ATHLETIA

アスレティア



4

ダメージを阻止、さらには肌を育む最新の日焼け止めで夏の味方に

ザ・ギンザ1は、光と“熱”からプロテクトする最新処方。スキンケア成分を贅沢に配合、美容液のように快適な使用感。ラ・メール2は、独自のUVフィルターで紫外線を徹底ブロック。ダメージの連鎖を食い止めて潤いとハリを守る。オールインワン感覚で使えるのはFAS3。やわらかく肌になじみ、独自の発酵由来成分でエイジングケアも。アクティブ派には、軽やかジェルのアスレティア4。薄膜でフィットして汗や擦れに強く、アロマの香りも清々しい。

- 1.ザ・ギンザ ヴェールプロテクターUV n SPF50+ PA++++ 70g ¥18,700 (ザ・ギンザお客さま窓口 © 0120-500824)
- 2.ラ・メール ザ・UV ディフェンス フリュイッド SPF50 PA++++ 50ml ¥17,600 (ラ・メール お客様相談室 © 0570-003-770)
- 3.FAS ザブラック デイ クリーム (医薬部外品) SPF50+ PA++++ 40g ¥6,600 (FAS お客様センター © info@fas-jp.com)
- 4.アスレティア スキンプロテクション UVジェル SPF50+ PA++++ UV耐水性★★★ 80g ¥5,500 (アスレティア © 0120-220-415)

フランスの名門、ドルノ家が1976年に創業したシスレーが、新たなサイエンスで男性の肌を解明、15年ぶりにメンズスキンケアを一新。男性の肌のエイジング傾向やテストステロンの影響に注目。ベタつかず、肌を整えるジェルクリームは、年齢を重ねた肌をまるごとケア。西アフリカ原産の植物から抽出した独自成分を中心に植物の恵みをフル活用、肌をじっくり立て直しながら、過剰な皮脂を抑えて精悍な肌印象へ。

シスレー 1.シスレイオム マティファイング ジェル クリーム 50ml ¥45,100 (シスレージャパン © sisley-paris.com)

SISLEY

シスレー

じつはデリケートな男性の肌。最新知見と植物の力で肌に活力



SK-II

エスケーツー

“シミさえなければ…”そんな願いに、先進の美白理論搭載の1本



年齢を感じさせるシミやどんより濁ったスキントーンに、最新のSK-II。シミのある部分は、肌本来の潤いが失われて外部刺激に弱い状態にあり、それによってさらにシミが濃くなる悪循環を発見。しなやかに潤しながら、シミの根を断つ美白美容液で、肌印象をリフレッシュ。朝のお手入れには、乾燥など日中の肌ダメージに先回りする多機能な日焼け止めを追加。肌を色づかせることなく、自然に明るく整え、健康的に。

SK-II 4.ジェノプティクス アドバンスド スポット エッセンス (医薬部外品) 30ml ¥17,490 5.ジェノプティクス エアリー UV クリーム SPF50+ PA++++ 30g ¥9,900 ※価格は編集部調べ (SK-II お客様相談室 © 0120-021325)

ドジャース・大谷翔平選手の広告起用で世界に知れ渡ったエイジングケア美容液。その初代誕生は1992年、女性にはおなじみのロング&ベストセラー。洗顔後すぐになじませると、するりと溶け込んで肌と一体化。使ってすぐの充実感、そして日に日に肌の調子を上げていく唯一無二の1本だ。今夏は、膜感レスかつ透明仕上がりの日焼け止めもスタメンに。表面さらさらで二次付着しにくく、どんな肌にも軽快な使い心地。

コスメデコルテ 2.リボソーム アドバンスド リペアセラム 50ml ¥12,650 3.UVコンフォート エアリートランスベアレント SPF45・PA++++ UV耐水性★★★ 30ml ¥4,950 (コスメデコルテ © 0120-763-325)

DECORTÉ

コスメデコルテ

洗顔後すぐに使う名品エイジングケア。試さない手はない!



2

3

6

CLARINS

クラランス

「エピジェネティクス」最新の研究領域に注目。エイジングをリセット

エピジェネティクス(後成遺伝学)研究から、喫煙や過剰な紫外線といった不規則なライフスタイルが肌のエイジングを加速することを突き止めたクラランス。南フランスに自生する植物のエキ스가その影響を中和することを見出し、ブランドを代表する2相式美容液に投入。汗ばむ季節や軽い使用感を好む肌には、さらりと仕上がるライトタイプを。シワつばさや毛穴の目立ちを抑え、肌をハリで満たす全方位型美容液。

クラランス 6.ダブル セラム ライト ADC 50ml ¥17,600 (クラランス カスタマーケア © 050-3198-9361)

都心から世界まで
魅力的な物件をラインアップ

グローバルブランドならではのネットワークで、
都心から国内リゾート・別荘、そしてハワイ、
アジアを中心に海外の厳選物件を提案している。



Area 01



ハワイ

オアフ島ラニカイ地区の海辺に佇む「モクア・エステート」。著名建築家が手がけた約1,000㎡の邸宅内には9ベッド・9バスを完備。壁一面の窓や広大な庭からモクア島の絶景を独占する、至極のプライベート空間。

Area 02



国内リゾート

愛車を駆って訪れたい、神奈川県逗子市・坡露山の白浜誠建築設計事務所による開放的な邸宅。約427㎡の空間に温水プール、プライベートサウナを完備し、相模湾の海景、春に咲く桜、夏の空を彩る花火など、四季折々の美しい日本を堪能できる。

Area 03



アジア

ブーケット屈指の高級エリアで開発が進む「ペイラー・ブーケット・オートグラフ・コレクション・レジデンス」。アジア太平洋初となるマリオットの「オートグラフ コレクション」が確かな資産価値を創出。全室家具・家電付きで、オーナーは年間45日間滞在可能。

Area 04



都内
プレミアム
エリア

表参道から徒歩でのアクセスが可能な「プレミス南青山」のペントハウスは、洗練を知るエグゼクティブに相応しい私邸となる。文化薫るエリアにある美しい低層レジデンスで、平置き駐車場付きの愛車が映えるファサードが特徴だ。

LIST SOTHEBY'S INTERNATIONAL REALTY
世界に唯一無二の邸宅を構える

日本、ハワイ、アジア、そして世界へ。
上質な不動産を通してライフスタイルの
豊かさを提案する高級不動産仲介ブランド
「List Sotheby's International Realty」。
国境を超えたボーダーレスな事業展開で、
富裕層の理想の邸宅選びと
資産戦略を力強くサポートする。

WORDS Shogo Hagiwara



世界の厳選物件を網羅する
確かな審美眼

1744年創業の現存する最も歴史があり実績をもつオークションハウス「Sotheby's」の不動産部門として1976年に誕生した「Sotheby's International Realty」。ニューヨークに本部を構え、現在世界80以上の国と地域に広がる高級不動産仲介ブランドとしての地位を確立している。この50年にわたる歴史の中で培われてきたのは、本物を見極める審美眼、そして世界の富裕層と築き上げてきたゆるぎない信頼である。70万組を超える富裕層顧客に選ばれてきた実績がそれを物語る。

日本市場においては、「List Sotheby's International Realty」が同ブランドの独占営業権を有し、東京本社を軸に、神奈川・関西・沖縄に拠点を構えている。北海道から九州・沖縄まで全国の主要エリアをカバーしており、都心の象徴的な高級マンションや、歴史と格式を備えた邸宅、さらには軽井沢や熱海、京都、ニセコ、沖縄などのリゾート・別荘まで、地域特性を熟知したうえで選び抜いた物件を取り揃えている。また、ホテルコンドミニアム、町家、一棟収益物件など多岐にわたるアセットにも対応し、国内のみならずインバウンドなど海外顧客のニーズにも応える、世界基準の不動産提案

を行える体制を整えている。

その根幹を支えるのが、日本と海外をシームレスにつなぐネットワーク。同社が展開するハワイ、アジア拠点との連携を中心に、海外の厳選物件をアフターサービスまで含めてワンストップで提案している。これまでもハワイの大規模再開発プロジェクトや超高級コンドミニアム販売に参画したほか、香港、タイ、シンガポール拠点でハイブランドレジデンスを手がけるなど、グローバルに実績を重ねてきた。日英中の多言語に対応できる類まれなる組織力こそ、同社が選ばれ続ける理由なのである。

高価格帯不動産はときに「アリートに匹敵する資産」とも評される。ゆえに求められるのは、単なる相場観のみならず、世界のマーケットを俯瞰的に把握し、真の価値とタイミングを見極める力。その観点からいえば、同社は国内外にわたり購入・売却のみならず、賃貸・管理、資産運用、さらには相続・事業承継までウェルスマネジメントを提供している点で群を抜いている。

邸宅は単なる住まいではない。オーナーの哲学や美意識を体現する。キャンパスである。グローバルなネットワークと富裕層ブランドならではの審美眼を併せもつ List Sotheby's International Realty は、そのキャンパスを彩る最良のパートナーとなるだろう。

読者
限定

EVENT

The Estate Salon supported by List Sotheby's International Realty

不動産の潮流をスタイリッシュに学ぶ
特別なイベントを開催

国内リゾートや海外に邸宅を所有することは、人生という旅に新たな彩りと発見をもたらしてくれるはず。今回のイベントではゲストを迎え、「旅」をテーマに、「住まう(家)」「巡る(車)」「味わう(ジャンパン)」など五感で楽しむ豊かなライフスタイルの可能性を提案するトークショーを開催します。

日程 2026年5月30日(土)
第1回 13:00開始 第2回 16:00開始

会場 ポルシェスタジオ銀座
港区東新橋1-5-2

募集人数 各回 25名様



ポルシェ デザイン タワー

バンコク屈指の高級住宅エリアであるスクンビット38に位置する「ポルシェ デザイン タワー バンコク」は、世界で3番目のポルシェ デザインによるブランドレジデンスであり、アジアで初かつ唯一のプロジェクトとして、超高級不動産開発における新たなベンチマークを確立する。全22戸、約525㎡～約1,135㎡の広大なレジデンスに、愛車を格納できるラグジュアリーガレージ「パッションスペース」を併設。時代を超えて愛されるポルシェの美学を建築に昇華した外観と最先端設備が、バンコクのスカイラインに新たな象徴を刻む。





ル・プチシェフ

36階のシネマダイニングは、3Dプロジェクションマッピングと美食が融合した唯一無二の舞台。現在、新シリーズ「ル・プチシェフ&フレンズ」を開催中。

食はエンタテインメントだ

テーブルに映し出される3Dアニメーションの中で、架空のシェフたちが料理を披露する。バーチャルな物語と実際に供される料理が呼応するたびに、視覚と味覚が揺さぶられる。食がエンタテインメントに昇華した瞬間だ。



MIXX
バー&ラウンジ

36階に位置し都心の夜景を一望できるモダンな空間が特長のバー。週末はDJも入り、多国籍な客が集う。写真のシグネチャーカクテル「アンバークレース」は、ホテルオリジナルジン「ラスト エリジウム」にアールグレイティーとオレンジの香りを重ねた爽やかな一杯。



ANA INTERCONTINENTAL TOKYO

東京に住まい
都心のホテルを愉しむ

15カ月にわたる大規模改装を経てさらなる進化を遂げたANAインターコンチネンタルホテル東京。13のレストラン&バーが、都心に暮らす者に非日常のひとつときをもたらす。

メインバー ダビンチ

3階のメインバーは、40年近い歴史をもつ正統派の軒。世界の銘酒300種以上が揃い、熟練のバーテンダーが場の空気を読んだサービスを提供する。写真は北海道産クラフトジンをベースに卵白のまるやかさとレモンの爽やかさを重ねた「HOKKAIDO 白の交響曲」。



週末はホテルで朝食を

週末の朝、少し気分を変えてホテルへ向かう。世界各国の多彩な料理が並ぶビュッフェを、非日常の空気の中でゆっくりと楽しむ。その小さな選択が、休日の質を一つ引き上げてくれる。



カスケイドカフェ

2階のオールデイダイニング。世界10カ国以上の多様な文化的背景を持つシェフたちのビュッフェを、宿泊しなくても朝食から楽しめる。目の前で仕上げるエッグステーション、充実した和食コーナーも揃う。



読者限定 PRESENT



読者限定キャンペーン

専用サイトから対象レストランでコース料理をご予約いただくと、ウェルカムドリンクにヴァーヴ・グー・グー アイエローラベルをグラスでお一人様1杯サービス致します。メインバー「ダビンチ」でも特典をご用意しています。



ジュネヴァ ロビーバー

2階ロビーに位置する「ジュネヴァ ロビーバー」は、いつでも気軽に利用できる懐の深さが持ち味。写真は、「ラスト エリジウム」をベースにカンパリとオレンジジュースを合わせた、柑橘香るカクテル「フロレンティーヌ・ライジング」。



自分たち好みの
バーと出会う

静謐な大人の時間を求めるならメインバー「ダビンチ」、夜景とともに華やかな宵を過ごすなら「MIXXバー&ラウンジ」、気軽に立ち寄るなら「ジュネヴァ ロビーバー」。3軒のバーがTPOに応じて寄り添う。

ホテルを日々の暮らしのアクセントに

「Ion Reborn」を掲げた大規模改装が2024年12月に完結し、ANAインターコンチネンタルホテル東京は新たな章を迎えた。赤坂、六本木、霞が関に位置するこのホテルは、13ものレストラン&バーを擁し、宿泊を超えた使い方を都心の居住者に提案してきた。改装を経て、その多彩な魅力がさらに磨かれた。ホテルを生活のアクセントにすること、それがこの場所のもう一つの価値なのだ。

仕事なが引いた夜、まっすぐ帰るには惜しい気分するとき、3階のメインバー「ダビンチ」の扉を開けてみてほしい。大理石のカウンター、レオナルド・ダ・ヴィンチの複製画が見守る静謐な空間に、世界の銘酒300種以上が揃う。「重厚な空間でありながら、肩肘張らずに楽しんでいただきたいのです」とバーテンダーが語る通り、察しのよいサービスが静かに時間を包んでくれる。

週末の宵、気の置けない仲間と、あるいはパートナーと出かけるなら、36階の「MIXXバー&ラウンジ」がいい。都心の夜景を眼下に収め、エシカル・スピリッツ社とのコラボレーションによるオリジナルのジン「ラスト エリジウム」をベースにしたカクテルで夜の幕を開ける。DJの音楽が流れ、多国籍な客が交わり合うこの場所は、東京にいながら世界を旅するような感覚を覚えさせる。

食事前のひと息には、2階ロビーの「ジュネヴァ ロビーバー」がふさわしい。アイコンク的な家具と調度品で統一された空間で、気軽に一杯。ホテルのバーをもっと身近なものにしてくれる場所だ。特別な夜を演出したいなら、36階の「ル・プチシェフ」という選択肢がある。最新の3Dプロジェクションマッピングと美食が融合したシネマダイニングは、2026年2月に新シリーズ「ル・プチシェフ&フレンズ」として開幕した。仏・西・伊・日本の架空の4人のシェフがテーブル上で国際料理対決を繰り広げる。バーチャルな調理映像と実際に供される料理が交差する体験は、食の劇場だ。大切な人の記念日に、あるいは子供や家族との特別なひととき、忘れられない夜となる。

週末の朝は、2階の「カスケイドカフェ」へ。インタラクティブなオープンキッチンが生み出すライブ感あふれる雰囲気の中、世界10カ国以上の多様な文化的背景をもつシェフたちによる多国籍な本場の料理をビュッフェスタイルで味わえる。家族でゆったり朝食を愉しみながら、週末の時間をホテルで始める。それだけで、一日は特別になる。

Hublot

クラシック・フュージョン
クロノグラフ チタニウム セージグリーン

装いに優しく馴染むペール トーンでさり気なく洒脱に

素材の魔術師として知られるウブロ。1980年の創業時から愛され続けてきた定番が「クラシック」シリーズだ。象徴的なビス留めベゼルは当時の継続ディテールであり、2011年にはその進化型としてクラシック・フュージョンが生みだされた。チタンやカーボン、それにセラミックなどの先進的な機能素材を用いることに加え、近年は色使いにおいても抜群の冴えを見せる。なかでも最新作のセージグリーンは服装に洒脱に馴染む色合い。軽量で使いやすいファッション性も備えたパーフェクトな定番ウォッチである。

チタンケース、45mm径、自動巻き、
パワーリザーブ約48時間、
5気圧防水、¥1,661,000
(LVMH ウォッチ・ジュエリー
ジャパン ウブロ
© 03-5635-7055)



Girard-Perregaux

ロレアート

誕生50周年を経てなお 成長する「ラグスポ」の雄

ジラルール・ペルゴが1975年に打ち出したラグジュアリースポーツウォッチの傑作、ロレアート。2017年に完全レギュラー化の再生を果し、2025年には堂々のモデル誕生50周年を迎えている。さらに熟成は進み、誰にでも使いやすい38mmケースを擁した新時代モデルが登場。光を自由に操るクルド・バリ装飾を彫り込んだ文字盤は、コッパーと名づけられたカラーリングにより、光源に応じてブラウンからピンクゴールド風の煌めきが楽しめる。ケースバックはシースルー式であり、信頼性を極めた自社ムーブメント、GP3300が堪能できる。

SSケース、38mm径、自動巻き、
パワーリザーブ約46時間、10気圧防水、
¥2,156,000(ソーウインド ジャパン
© 03-5211-1791)



IWC Schaffhausen

IWC. Curated.

伝説の一本が手に入るだけでなく“安心”まで付属

「IWC. Curated.」は、同社のエキスパートが選び抜いた歴史的IWCウォッチを修復し販売するという、エンスージアストかつエコなプログラム。修復を経た時計は認定書と同時に国際限定保証が付与され、その保証は登録時に8年の延長まで可能。たとえば、時計デザイナー兼アーティストのジェラルド・ジェンタによる最も象徴的な一本とされるインジュニアSL。1976年発表の伝説的なref.1832は、マニア垂涎のレアピースだが、「IWC. Curated.」にストックされていれば自宅にいながら入手が叶う。コアなウォッチファンにとって、まさに究極のサービスといえる。

写真のインジュニアSLは参考商品。「IWC. Curated.」のアイテムはすべて一点ものゆえ、同社ウェブサイトでの在庫確認がマスト。
(IWCシャフハウゼン © 0120-05-1868)

誰よりも凛々しく洒脱に

for Gents

Grand Seiko

Evolution 9 Collection
スプリングドライブ U.F.A. SLGB003

世界に覇を唱えるスプリング ドライブのさらなる進化形

2021年にローンチされた「エボリューション9」。独自の9つからなるデザイン哲学を踏まえ製作されている。特に本作は最新のスプリングドライブの採用がトピックのひとつ。世界でセイコーだけの駆動方式を誇るムーブメントは、現在までにさらなる進化を遂げている。ぜんまい駆動式腕時計としては、世界最高とも言える、年差±20秒という驚異的高精度の「スプリングドライブ U.F.A. (Ultra Fine Accuracy)」、キャリバー9RB2を搭載。視認性と美観を両立させた「樹氷ダイヤル」も美しい。

プライトチタンケース、37mm径、スプリングドライブ、
パワーリザーブ72時間、10気圧防水、
¥1,518,000(セイコーウォッチお客様相談室/
グランドセイコー © 0120-302-617)



Audemars Piguet

ネオ フレーム ジャンピングアワー

頂点ブランドが打ち出す 魅惑の機械式デジタル表示

自社製としては初となる、ジャンピングアワー機構をもつ今季を彩る話題作。サイドにゴドロン装飾を加えた直線と曲線を組み合わせたレクタンギュラーケースに、デジタルな小窓表示がミニマルかつスタイリッシュ。1921年に同社が発表したプレモデル「1271」のもつアール・デコ調ストリームラインを活かしたデザインが最大の特徴。シンメトリックなデジアナ・スタイルは当初のままに、21世紀のモダンセンスを組み合わせた2トーンカラーが独自の存在感を匂わせる。遊び心を効かせたラグジュアリーウォッチの新領域がここにある。

18KPGケース、47.1×34mm、自動巻き、
パワーリザーブ52時間、2気圧防水、¥9,790,000
(オーデマ ピゲ ジャパン © 03-6830-0000)



Vacheron Constantin

フィフティーシックス・オートマティック

マルタ十字の意匠をケースの 要所にしのばせた絶妙デザイン

創業1755年の老舗となれば、アーカイブの量も膨大。なかでも優れたポテンシャルをもつ1956年発表の「6073」を再解釈したモデルがフィフティーシックス。同社のアイコン、マルタ十字の4枝を造形ポイントとして取り入れたラグデザインに特徴がある。本作は2018年に新作モデルとして登場したフィフティーシックスから華やかなピンクゴールドケースに引き締まった黒文字盤、さらにアンスラサイトカラーのヌバックベルトにより、こなれたモダンズムを演出。デイリーに使えるネオ・ラグジュアリーウォッチである。

18KPGケース、40mm径、自動巻き、
パワーリザーブ48時間、3気圧防水、¥4,312,000
(ヴァシュロン・コンスタンタン © 0120-63-1755)



再生を経て輝く 本格時計の魅力

ブランドの強みは重ねた時間にある。歴史というアーカイブを再生させ、名作は新たな輝きを纏う。比類ない時間を人生に求める男と女、さらに共用でも楽しめる新時代のマスターピースを、ジャンル別にラインナップ。

EDIT & WORDS Tsuyoshi Hasegawa (TRS)

Jaeger-LeCoultre

コレクタブルズ

1930年代の貴重なレベルソが 最高の状態で入手できる!?

機械式時計の黄金期とされる1920~70年代の歴史的なモデルを、ジャガー・ルクルト自体が収集し修復。そして時計ファンのために展開するカプセルコレクションが「コレクタブルズ」。毎回、開催時期や場所、モデルを絞り込み限定的に執り行われ話題となっている。2026年2月には米国にてレベルソにフォーカスしたコレクションが開催され人気を博した。「コレクタブルズ」の情報に関しては、同社の公式ウェブサイトにてラインナップや価格などを知ることが可能。最上のビンテージを手に入れる手段として、まさに申し分なし。

出品モデルは一点ものゆえ、ストックに関してはブランドへの確認が必須。画像のモデルは1937年製の参考商品。
¥7,656,000(ジャガー・ルクルト © 0120-79-1833)

Zenith

デファイ リバイバル シャドウ

強いエッジを備えつつ 絶妙な使い勝手を実現

デファイはゼニスが1969年に発表した300m防水のスポーツウォッチに原点がある。エッジの効いた八角型ケースや、針のデザインまでオリジナルに倣い復刻したデファイ リバイバルは2022年に登場。世界的なヒットを受けて、同モデルはさらに異素材を駆使しアップデートを敢行。ある意味レトロなルックスをひとつの特徴とするデファイ リバイバルだが、ブラックチタンを採用した本作は、都会的なクールネスをも併せ持つ。また、性別に関わらず使いやすい37mmケースもポイント。どんな装いも力強く引き締めてくれること間違いなし。

チタンケース、37mm径、自動巻き、
パワーリザーブ50時間、
30気圧防水、¥1,119,800
(ゼニスプティック 銀座
☎ 03-3575-5861)



A. Lange & Söhne

1815

アンダーステイトメントを 体現する34ミリという選択

複雑機構で耳目を集めることの多いドイツの老舗。ただし1995年初出の1815は、ピギナーをも意識したベーシックモデルとしてスタートを切った。進化の途中では時代に即した迫力ある40mm径モデルも打ち出された。そして現行コレクションでは初出モデルへの回帰を思わせる、小振りな34mmケースモデルを新たにラインナップ。シンプルな時分針とスモールセコンド式かつ小径ケースの組み合わせは、ある意味ビンテージウォッチのごとき奥ゆかしい佇まい。極めて高い趣味性を備えながら男女問わず使いやすい、希有な一本だ。

18KWGケース、34mm径、手巻き、
パワーリザーブ72時間、3気圧防水、¥4,286,700
(A.ランゲ&ゾーネ ☎ 0120-23-1845)



Piaget

シックスティ

ラウンドでもスクエアでもない トラペーズが醸す深遠なる魅力

多くのカルチャーが変革期を迎えた1960年代。ピアジェはデザイナーを特別に招聘し、ジュエリーと時計を融合させた斬新なコレクションを発表。なかでもトラペーズ(台形)はコレクションを代表するフォルムとなり、60年の時を経て新たなラグジュアリーウォッチとして見事に再生。スクエアのようでありながら、ラウンド風のしなやかさなど、言葉を超えた奥深い個性を放つところに本作の魅力がある。さらにダイヤモンドをベゼルに巻いたモデルなら、普段着を引き立てつつゴージャスなシーンにも美しく着けこなすことが可能。

SSケース×ダイヤモンド、29×25.3mm、
クォーツ、5気圧防水、¥1,812,800
(ピアジェ コンタクトセンター ☎ 0120-73-1874)

共に楽しむ大切な時間 for Sharing

Parmigiani Fleurier

トンダ PF オートマティック
ストーンブルー

緻密な造形美を持つ 静謐を極めた二針時計

「神の手」と呼ばれた天才時計師により、スイスのフルリエにて生まれた高級時計メゾン、パルミジャーニ・フルリエ。過去の貴重な時計やオートマタ(からくり人形)を数々再生させた経験を活かされる時計は、伝統的かつ品格あるデザインがポイント。なかでもトンダ PFは、同ブランドを世界に知らしめた人気モデル。特に新作の二針モデルには、初となるストーンブルーダイヤルを採用。繊細なバーリコーン模様のギョシェ、刻み装飾を施したブラチナ製のベゼルと相まって、クリーンかつジェンダレスな洒落感を放つ仕上がりに。

SSケース×ブラチナベゼル、36mm径、
自動巻き、パワーリザーブ60時間、10気圧防水、
¥3,575,000(パルミジャーニ・フルリエ
☎ pfd.japan@parmigiani.com)



Breitling

スーパーオシャン ヘリテージ
オートマチック 36

サーフカルチャーに由来する ポップカラーがフレッシュ

1957年にプロダイバーや冒険家に向けリリースされたスーパーオシャン。その後継となる新型のスーパーオシャン ヘリテージは、全体的なアップデートを経て鮮烈かつスタイリッシュに変身。従来の味わい深いレトロスタイルにくわえ、南国のサーフカルチャーを意識したカラフルなモデルをラインナップ。なかでも本体のみならず、ストラップまでペールグリーンに染めた一本は極めてファッションブル。当然ながら実用機能も進化しており、200m防水に加えCOSC認定となる高精度の自社製機械のキャリバー10を搭載。

SSケース、36mm径、自動巻き、
パワーリザーブ約42時間、200m防水、¥803,000
(ブライトリング・ジャパン ☎ 0120-105-707)



Bvlgari

セルペンティ セドゥットーリ

人目を引き付けて離さない 美しくさらびやかな“蛇”

1940年代から続くアイコンックなジュエリーであるブルガリのセルペンティ(蛇)。腕に巻き付くリアルな蛇型デザインは、バリエーションを生みつつ洗練されていく。巻き付き型のアイデアを活かした腕時計の登場は実に1948年。そして本作のセドゥットーリは、蛇の頭を模したケースにウロコを思わせるプレスレットを配し、スマートなドレスウォッチとして完成。さらに注目すべきは自社製の小型自動巻きムーブメント「BVS100 レディンロテンボ」の搭載。機械重量わずか5gながら、50時間ものパワーリザーブを発揮する。

SSケース×ダイヤモンド、34mm径、自動巻き、
パワーリザーブ50時間、3気圧防水、¥1,705,000
(ブルガリ・ジャパン ☎ 0120-030-142)

淑やかに気高く美しく for Ladies

Omega

シーマスター アクアテラ スモールセコンド

光を受けて全方向に輝く 二重のダイヤサークル

シーマスターは現行オメガにおける最古のコレクション。防水時計の世界的アイコンとして、初出の1948年以来、止まらず進化を続けている。女性が使える小型のシーマスターも、1950年代という早い時代から打ち出され、アクティブな女性を腕元から支える貴重な存在であった。なかでもアクアテラは、女性の感性を刺激する華やかなモデルを多数ラインナップ。特にインデックスとスモールセコンド回りにダイヤをあしらった本作は、バーガンディストラップと相まって極めてエレガント。防水性は150mと機能面も抜かりない。

18K セドナゴールド×SSケース、38mm径、自動巻き、
マスター クロノメーター認定、パワーリザーブ55時間、
150m防水、¥1,870,000(オメガ ☎ 0570-000087)





▶ TOPICS 1

**KOKUSAI GROUP SPORTS TEAM
スーパー耐久に参戦**



ボルシェ、レクサス、マクラーレン、ランドローバー、バング & オルフセンの正規販売を行うKOKUSAI GROUPが、2025年まで Porsche Team EBIとして参戦してきたモータースポーツ活動の基盤を引き継ぎ、今季よりスーパー耐久シリーズにKOKUSAI GROUP SPORTS TEAMとして参戦を開始。これまで以上にグループを横断するプロジェクトとして、モータースポーツ活動を位置付け、極限環境での技術の向上と人材育成、チームワークの醸成を実践しています。ドライバーはアマチュア枠のADドライバーに呉良亮選手を起用。久保凜太郎選手、北園将太選手、山野直也選手とともに新しい白と黒のカラーリングが目を引きPorsche Cayman GT4 RS Clubsportのステアリングを握り、ボディウムトップを目指して戦っています。さらにレース応援ツアーの開催や各販売店でのドライブシミュレータの体験設置など、モータースポーツの魅力を知っていただく取り組みも行っていきます。

▶ TOPICS 2

**バング & オルフセンの
100周年を祝う
展覧会を開催**



©Ichikawa Shinichi

創業100周年を迎えたオーディオ・ビジュアルブランド、バング & オルフセン(以下B&O)。卓越したサウンドと洗練されたデザインが融合する唯一無二のブランドが歩んできた一世紀を、多角的な展示とともに紐解く展覧会「Beautiful Sound and Design -バング & オルフセンが紡ぐ美しい音とデザインの100年」を表参道ヒルズで開催。本展覧会では一度は目にしたことがあるエポックメイキングな製品の展示のほかに、独自のデザイン思想に迫る各時代を彩ったデザイナーと広告・ビジュアルの紹介、B&Oのクラフトマンシップの最高峰ともいえるフルオーダーメイドサービス「Atelier」が日本の工芸とコラボレーションした製品も発表。さらに特設空間での音響システムの視聴体験も多くの来場者に楽しんでいただきました。

▶ TOPICS 3

**911が細部に宿るボルシェ
デザインのトローリーケース**

ボルシェ911の空力形状に着想を得たアルマイトを施したアルミニウム製のトローリーケース。カラクラシックデザインのボールベアリングホイールや無段階調節が可能なマルチストップハンドル機構を採用するなど、ボルシェデザインならではのこだわりが細部に宿ります。各ボルシェセンターでも展示しているので、ボルシェデザインの確かなものづくりをぜひご覧ください。H67×W46×D27cm ¥305,800



YOSHIDA

**高性能カーボンを纏い
贅沢な時間と戯れる**

天才時計師が手掛ける「グルーベル・フォルセイ」では、特別なカーボン素材をケースに用いることで、快適さも追求。ハイエンドウォッチを日常使用する。それは極めて贅沢なことだ。

WORDS Tetsuo Shinoda

**高精度と高機能を極めた
スポーツウォッチ**

機械式時計において精度を高めることは至上命題であり、パーツや潤滑油、構造など、あらゆる部分で技術革新を重ねてきた。「グルーベル・フォルセイ」では、高精度のために独創的な機構を開発しており、30度傾けて配置することで重力による誤差を減少させるテンプは、その代表となる。

さらに「バランシエール コンヴェクス S² カーボン」では、ケースの素材でも技術革新を進める。ムーブメントの大胆な構造美を生

かすためにケースも立体的にデザインし、手首に沿うように大きく湾曲させている。その強度と着有感を高めるためにカーボン素材を使用するが、通常の8倍の圧力をかけ、極めて強固な素材にしている。

軽くて手首に馴染み、高精度。それは日常使いの時計に求められる要素である。グルーベル・フォルセイは、それをハイエンドウォッチで実現しており、オーナーの毎日を特別な時間に変えてくれる。



**バランシエール
コンヴェクス S² カーボン**

造形美とメカニズムをハイレベルで融合。ブリッジの下には浮遊するように配置された歯車たちが見え、あらゆる場所で高度な技巧を楽しめる。手巻き、カーボンケース、ケース径41.5mm。YOSHIDAスペシャルモデル、限定50本。価格要問い合わせ



**バランシエール コンヴェクス S²
ブラックセラミック×レッドゴールド**

ベゼルとケースバックにレッドゴールドを、ミドルケースにはブラックセラミックを用いて華やかを加えた新作モデル。手巻き、18KRG×セラミックケース、ケース径41.5mm。限定11本。価格要問い合わせ

SHOP

グルーベル・フォルセイ ブティック銀座



銀座の晴海通り沿いにある直営ブティックでは、卓越した技術を解説する展示もあり、静かな空間で世界最高峰の時計に触れることができる。

◎ 東京都中央区銀座4-3-10 ☎ 03-3538-5401

🕒 10:30~19:30 Close 火曜(祝日を除く)

STAFF LIST

PUBLISHER / PRODUCER

Yasumasa Isobe / WRANC Inc.

ART DIRECTOR

Takuya Tawara / TAWARASHA

ADMINISTRATOR / ASSISTANT EDITOR

Mina Harada / WRANC Inc.

ASSISTANT

Izumi Yamaya / WRANC Inc.

DESIGNER

Tamaki Ishihara
Shirabe Nomura / TAWARASHA

PRINTING DIRECTOR

Junko Fukunaga / JBF

DTP OPERATOR

Naoki Cross / grokDesign

SPECIAL THANKS

For Editorial Contribution

SENIOR PROJECT MANAGER

Yuki Arakawa

PROJECT MANAGER

Tatsuhiko Kanno

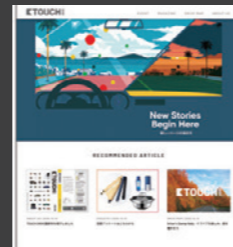
DATA ADMINISTRATOR

Yohei Aoyama

SALES

Akira Shiomi
Akira Suzuki
Asako Kudo
Atsuro Sato
Chie Shima
Daichi Yamamoto
Daisuke Kikuchi
Daisuke Koizuka
Daisuke Kuwabara
Ei Tsuchida
Eiichi Tsuji
Fumito Sasaki
Genki Tanaka
Go Iriyama
Hideaki Suzuki
Hideo Miyamoto
Hideyuki Ohtani
Hiroaki AkizawaHiroaki Hirabayashi
Hirohito Morii
Hiroshi Honma
Hiroshi Matsumoto
Hiroshi Okamura
Hiroshi Tagashira
Hiroyasu Tsuchiya
Ichiro Takakuwa
Isaku Owada
Johannes Yoichi Sasaki
Jun Oki
Jun Ome
Junya Suzuki
Kaimu Endo
Kakeru Mikawa
Kanao Kitajima
Kantaro Takegata
Katsuhiro Enokido
Katsushi Tanda
Katsutoshi Takeda
Katsuyuki Okamoto
Kazuhiro Kodera
Kazuhiro Watanabe
Kazuma Koizumi
Kazutoshi Kimura
Kazuyuki Okamoto
Kei Miyoshi
Kei Watanabe
Kenji Ihara
Kentaro Akiya
Kenya Kondo
Kiminobu Nakamura
Kohei Yoshihara
Koji Matsushita
Koji Uoya
Kota Yoshinaga
Kyohei Ogawa
Masahiro Wakatsuki
Masaki Sugiura
Masaki Yoshinami
Masaru Saito
Masashi Matsuo
Masumi Kodama
Mayo Miyamoto
Mie Adachi
Miho Ishii
Mitsuharu Inaba
Mitsuki Shindo
Mitsuo Motoyoshi
Motoharu Inagaki
Munetaka Inoue
Narufumi Kudo
Noburo Funaki
Nozomu Furui
Osamu Ono
Ren Saito
Ryu Yoshimizu
Ryusuke Mizoe
Sachio Hinata
Sakura Takayama
Sayaka Takahashi
Seiya HashimotoShingo Shimobe
Shinichi Ohmura
Shinichi Sasaki
Shinjiro Aoki
Shinya Ujiie
Shota Kitazono
Shoto Doi
Shuichi Kataoka
Shun Higuchi
Shun Itabashi
Shunta Bunya
Susumu Azegami
Tadashi Imaizumi
Takafumi Iizuka
Takashi Fukahori
Takashi Oya
Takashi Tsukada
Takayuki Yamamoto
Takeshi Seki
Takumi Kawamura
Takumi Osone
Takumi Seki
Taro Murakami
Tatsuya Kimura
Teppei Honda
Toki Kawano
Tomoaki Fujikawa
Tomohiko Okada
Tomokazu Fudo
Toshiaki Matsui
Toshiaki Nomoto
Toshinori Ihashi
Toshiro Fukuyama
Tsuyoshi Hiura
Yoshihito Hishikawa
Yoshimasa Imagawa
Yoshitaka Haneishi
Yoshiyuki Utsugi
Yosuke Kitayama
Yosuke Sakamoto
Yuji Ishiyama
Yuji Takahashi
Yume Hanai
Yusuke Asano
Yusuke Endo
Yuta Ehara
Yuudai Miyoshi
Yuuki Hori
Yuya Suzuki
Yuzuki Ohmine

OFFICIAL WEBSITE



ktouch.jp



FOLLOW US



CONTACT

編集・広告のお問い合わせ先
WRANC株式会社

03-6427-3026

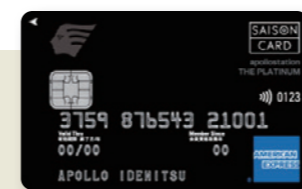
touch@wranc.com

IDEMITSU CARD

ドライビングの相棒

愛車で走る歓びと、名門ゴルフコースで放つドライブ。
出光クレジットの「apollostation THE PLATINUM」が
上質なカーライフとゴルフの優雅な時間を紡ぐ。

WORDS Shogo Hagiwara

愛車と向かう名門クラブ
休日彩る至高のカード柔らかな春の陽光や初夏の薫風を
まとい、愛車を走らせる歓びは格別
だ。心地よいエンジン音とともに、
長距離を駆け抜ける唯一無二の時間
目指す先には緑美しい名門クラブの
ゴルフコースが待っている。そんな休日の相棒としてお薦めな
のが、カーライフを長きにわたりサ
ポートしてきた出光クレジットの
「apollostation THE PLATINUM」。
全国の給油スタンド「apollostation」
での給油時には、毎回1ℓあたり2
円引き、月々の利用額に応じて最大
10円引きとなる。しかし、このカードを所有する真
の価値は給油時にとどまらない。ク
ルマとゴルフの双方を深く愛する
オーナーへ向けた「プレミアムゴル
フサービス」では、憧れの名門コー
スにおけるプライベートラウンドの
手配や、1名でも参加できるイベン
トや競技会を多数開催。また、優待
価格でこれらのサービスを利用でき
る点も見逃せない。格式ある名門クラブへと足を運び
ゴルフを通じて新たな友と出会う。
まさに至極のゴルフライフを約束す
るステータスカードなのである。
愛車を操るドライビングの歓びと
フェアウェイに放つドライブ―。
このふたつの至福を「apollostation
THE PLATINUM」とともに堪能し
てみてはいかがだろうか。

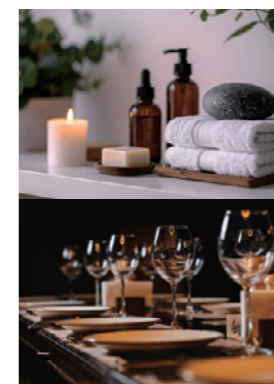
CARD INFORMATION

選ばれし大人へ贈る、
信頼と誇りのカード新規入会後の1か月間はガソリン代金が、1ℓあたり
5円引きとなる優待にくわえて、条件達成で次年度
の年会費が無料に。ゴルフ、Entrée以外にも、国際
線空港ラウンジ無料などの特典も多数備えている。ご入会に関するお問い合わせ先
出光クレジット株式会社 営業開発部

03-6890-0375

9:00~17:00(土日祝休)

詳細はこちら



極上のひとときを約束する「Entrée」

選ばれしオーナーの日常を、より一層豊かに彩る「Entrée」では、国内外の一流ホテル
におけるアップグレード、スパ&ショッピングでの優待にくわえ、老舗・名門レストラン
の予約、出張・旅行時のホテル予約など、専属コンシェルジュのごとく、きめ細やかなサ
ポートを提供している。

※1 ショッピング利用の翌々月のSSでの給油分に適用されます(請求時に値引き)。※ガソリン値引きは請求時に値引きされます。※値引き単価はいずれも消費税込みです。※一部SSでは値引きが適用されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。※入会特典のサービスは変更となる場合があります。※カード発行の手続きには約2週間を要します。場合によりさらに時間がかかることがあります。※審査により、申し込みの意に沿えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。※カードの正式名称はapollostation THE PLATINUM セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カードです。※「アメリカン・エクスプレス」はアメリカン・エクスプレスの登録商標です。このカードはアメリカン・エクスプレスから株式会社クレディセゾンへのライセンスに基づき、出光クレジット株式会社が発行するものです。

AUDEMARS PIGUET

Le Brassus




YOSHIDA
SINCE 1920

ROYAL OAK CONCEPT
キャリバー 4407 Ø43mm